

令和3年度

授 業 実 施 計 画

札幌歯科学院専門学校  
歯科衛生士科

【科目名】 生物

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 30時間

【単位】 2単位

【担当講師】 高校教諭 田崎 保明

【授業概要】 生物学をとりまく現状と課題について考察する。  
また、生物の多様性を理解し相互依存の関係を学ぶ。

【到達目標】

- ・生物の系統および進化について概説できる。
- ・ヒトという生物と他の生物とのかかわりを概説できる。
- ・生物の多様性と相互依存の関係を説明できる。
- ・地球環境の変化と生物への影響について概説できる。
- ・外来生物の功罪について概説できる。

【教科書】 プリント配布

【参考書】

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	生物の系統分類	生物とは何か ～ウイルスは生物か～	田崎 保明
2	生物の系統と進化	生命の誕生と進化 ～進化はどこに向かうのか～	田崎 保明
3	ヒトの生物学(1)	骨格から見える進化 ～骨は語る～	田崎 保明
4	ヒトの生物学(2)	痕跡器官から見える進化 ～なぜ動耳筋があるのか～	田崎 保明
5	植物の多様性(1)	コケ、シダ、種子植物 ～はなさかじいさんの灰の成分は？～	田崎 保明
6	植物の多様性(2)	生態分布(環境と分布) ～北海道はお花畑～	田崎 保明
7	動物の多様性(1)	無セキツイ動物 ～蛸(たこ)はなぜ虫へんなのか？～	田崎 保明
8	動物の多様性(2)	セキツイ動物 ～北海道のモグラ？～	田崎 保明
9	課外研修	円山動物園見学 ～各種動物の観察～	田崎 保明
10	菌類の世界	分解者としてののはたらき ～世界最大の生物はキノコ！～	田崎 保明
11	生物多様性の保全	レッドリスト、レッドデータブック ～絶滅危惧種を絶滅させないために～	田崎 保明
12	地球環境と人類	温暖化問題を考える ～北海道が亜熱帯性気候に！～	田崎 保明
13	外来生物	外来生物と在来生物の関係 ～内田ザリガニとは？～	田崎 保明
14	講義のまとめ	バイオテクノロジーがもたらすもの ～iPS細胞が切り開く再生医療の未来～	田崎 保明

【科目名】 化学

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 30時間

【単位】 2単位

【担当講師】 高校教諭 三好 敬一

【授業概要】 医療現場で種々の歯科材料を扱うためには、化学の基礎が不可欠となっています。化学の基礎知識から歯科医療の関連までを系統的に学習し、身につけてもらいます。

【到達目標】

- ・物質は元素が結合することによってできている。結合の仕方によって物質の多様な性質が決まっていることを知る。
- ・溶液の性質、溶液の濃度の表し方を身につける。
- ・酸と塩基、酸化と還元を把握する。
- ・有機化合物と日常生活での役割を理解する。

【教科書】 最新歯科衛生士教本『化学』  
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	物質の分類 電子配置	1. 混合物と純物質 2. 単体と化合物 3. 元素と原子 4. 原子の構造 1. 原子の構造 2. 電子配置	三好 敬一
2	化学結合 1 化学結合 2	1. イオン 2. イオン結合 3. 組成式 1. 共有結合 2. 電子式・分子式 3. 配位結合 4. 金属結合	三好 敬一
3	物質質量 1 物質質量 2	1. 原子量 2. 分子量・式量 1. 物質質量	三好 敬一
4	気体 1 気体 2	1. ボイル・シャルルの法則 2. 状態方程式 1. 大気圧 2. 地球温暖化ガス 3. 気体を使う	三好 敬一
5	水溶液の濃度 1 水溶液の濃度 2	1. 水溶性の仕組み 2. 濃度の表し方 1. 濃度の計算	三好 敬一
6	希薄水溶液の性質 コロイド	1. 沸点上昇 2. 凝固点降下 3. 浸透圧 1. コロイド 2. コロイド溶液の性質・分類	三好 敬一
7	酸と塩基 1 酸と塩基 2	1. 性質・定義 2. 種類 3. 強弱 4. pH 1. 身近な物質のpH 2. 中和 3. 緩衝作用	三好 敬一
8	酸化と還元 1 酸化と還元 2	1. 酸化と還元 2. 酸化剤・還元剤 1. 酸化還元反応式	三好 敬一
9	イオン化傾向 1 イオン化傾向 2	1. 金属のイオン化列 2. イオン化列と反応性 1. 電池	三好 敬一
10	有機化合物 1 有機化合物 2	1. 炭素原子の結合 2. 飽和炭化水素 3. 不飽和炭化水素 1. 芳香族炭化水素 2. 構造異性体 3. 立体異性体	三好 敬一
11	有機化合物 3 有機化合物 4	1. ハロゲンを含む炭化水素 2. アルコールとフェノール 1. エーテル 2. アルデヒドとケトン 3. カルボン酸	三好 敬一
12	有機化合物 5 高分子化合物	1. アミン 2. ニトロ化合物 1. 付加重合 2. 縮合重合 3. 合成ゴム	三好 敬一
13	水 ヒトを形つくる元素	1. 水の構造と性質 2. 水の溶媒特性 1. 主要無機元素 2. 微量無機元素	三好 敬一
14	糖質 アミノ酸	1. 単糖類 2. 二糖類 3. 多糖類 1. 構造と性質 2. 種類 3. 分類	三好 敬一
15	たんぱく質 脂質・核酸	1. 構造 2. アミノ酸誘導體 1. 飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸 2. 分類 3. 遺伝子	三好 敬一

【科目名】 心理学

【年次・開講期】 2年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 田鍋 佳子

【授業概要】 人の基本的認知能力について概観し、個人と個人ないし社会と個人の関係において生じる心理的事象について考察する。

【到達目標】

- ・様々な心理検査法を概説できる。
- ・行動と知覚・認知との関係について概説できる。
- ・記憶の種類とメカニズムについて概説できる。
- ・言語コミュニケーション・非言語コミュニケーションを説明できる。
- ・ストレスの仕組みを理解し、性格や疾病との関連を説明できる。
- ・対人関係にかかわる心理的要因と行動を概説できる。

【教科書】 プリント配布

【参考書】

【評価方法】 単元ごとの小レポート40%、定期試験(前期)60%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	心理学的発想と心理検査法	心理学と講義についての概要を説明する。心理学的発想の基礎と、様々な心理検査手法を学ぶ。	田鍋 佳子
2	感覚・知覚・認知	私たちは、見たり聞いたり感じたりすることによって、環境を知り、それに応じて行動したり、行動を調整する。行動を理解するために、環境をどう知覚しているのかについて基礎的な知識を得る	田鍋 佳子
3	記憶のメカニズム	人はどうやって記憶をしているのだろうか。様々な記憶の種類とそのメカニズムを理解する。また、自覚しにくい無意識の記憶バイアスや誤りについて理解する。また、記憶を歪めずに再生させるための面接方法について学ぶ。	田鍋 佳子
4	記憶のメカニズム		田鍋 佳子
5	対人スキル	より良い対人関係を築くために必要となる技能(相手の話を聞くこと、自分の意見を主張すること)を向上させるために必要となる知識を学ぶ。	田鍋 佳子
6	ストレスとコーピング	ストレスの仕組みを知り、性格や疾病との関連を理解する。また、自分自身を理解するために、ストレスチェックを行う。	田鍋 佳子
7	言語と発達	人間の生物としての進化的基盤について学び、新生児の言語発達段階から大人の言語コミュニケーションに至るまで、その諸問題について議論する。	田鍋 佳子
8	言語と発達		田鍋 佳子
9	自己理解の心理過程	自己概念の種類と形成過程について学ぶ。	田鍋 佳子
10	他者理解の心理過程	対人場面において、他者を理解する際に陥りやすい認知バイアスについて学ぶ。	田鍋 佳子

【科目名】 **倫理学**

【年次・開講期】 2年次 後期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 太田 麻奈美

【授業概要】 人間とは何か、生きるとはどういうことかなどについて、先哲の思想に学びながら、社会人としての豊かな教養を身に付け、自ら主体的に考えようとする姿勢をはぐくむとともに、応用倫理学の一つである「医療倫理学」(3年次履修予定)を深く理解できるよう、倫理学の基礎を身に付け、医療従事者としての使命感を醸成する。

【到達目標】

- ・倫理学の意義がわかる。
- ・先人の哲学の思想が概ねわかる。
- ・医療従事者としての倫理について考えることができる。

【教科書】 「先生が教えてくれた倫理Ⅱ」 矢倉芳則 著 清水書院

【参考書】

【評価方法】 定期試験100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
1	「倫理」を学ぶ意義とは？	経験論と合理論	太田 麻奈美
2	ドイツ観念論	・カント ・ヘーゲル	太田 麻奈美
3	功利主義	・功利主義とは何か ・ベンサム ・J・S・ミル	太田 麻奈美
4	社会主義の思想	・産業革命 ・社会主義国家について ・マルクス	太田 麻奈美
5	実在主義の思想Ⅰ	・実存主義思想とは何か。 ・キルケゴール ・ニーチェ	太田 麻奈美
6	実在主義の思想Ⅱ	・ヤスパース ・ハイデッカー ・サルトル ・実在主義の展開	太田 麻奈美
7	アメリカの思想とプラグマチズム	・ジェームス ・デューイ	太田 麻奈美

回	授業項目	授業内容	担当者
8	現代ヒューマニストの思想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シュヴァイツァー</li> <li>・ガンディー</li> <li>・キング</li> <li>・マザーテレサ</li> </ul>	太田 麻奈美
9	現代思想の潮流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者への尊重と近代思想への批判</li> <li>・理性主義の見直しと新しい学問の展開</li> </ul>	太田 麻奈美
10	生命倫理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療従事者にとっての倫理</li> <li>・倫理学のまとめ</li> <li>・試験について</li> </ul>	太田 麻奈美

【科目名】 言語学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 30時間

【単位】 2単位

【担当講師】

大森滋樹

【授業概要】 コミュニケーションに対する理解を深め、表現力を豊かにする学習を行う。  
要約演習、レポート作成などを通し、抽象・具体といった思考の基礎を養う。  
また、熟語・慣用句などの練習問題を通し、基礎的な日本語力を身につける。

【到達目標】 ・読解力を高め、適切なコミュニケーション力を磨く。  
・熟語、慣用句を理解し、使いこなせるようにする。  
・事実と意見をしっかり区別し、具体的な事実から意見を導けるようにする。  
・敬語を学び、適切に使えるようにする。

【教科書】 佐藤陽 畑川剛毅『看取りのプロに学ぶ 幸せ』

【参考書】 毎回プリントを配布し、練習課題を行う。

【評価方法】 レポート3回 60パーセント 要約2回 20パーセント 小テスト 20パーセント

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	ガイダンス・要約演習	授業の進め方・「音楽療法」内容分析・要約演習・抽象と具体	大森滋樹
2	要約演習	漢字小テスト①・「在宅医療」内容分析・要約演習	大森滋樹
3	要約課題提出①	漢字小テスト②・「助け合いの町で」内容分析・要約課題提出	大森滋樹
4	レポート演習	漢字小テスト③「口から食べたい」批判的に読む・コミュニケーションに大切なこと。	大森滋樹
5	レポート演習	漢字小テスト④「抱きしめて看取る」レポートの基本的構成	大森滋樹
6	レポート演習	四字熟語テスト① 話し言葉と書き言葉・文章表現基礎知識	大森滋樹
7	レポート課題提出①	四字熟語テスト②「抱きしめて看取る」レポート作成・提出	大森滋樹
8	要約課題提出②	慣用句テスト①「救命現場の悩み」内容分析・要約課題提出	大森滋樹
9	レポート・新聞読解演習	慣用句テスト②「抱きしめて看取る」レポート講評・新聞記事を読む①	大森滋樹
10	レポート・新聞読解演習	ことわざ・故事成語テスト① 「訪問看護師とともに」内容分析・新聞記事を読む②	大森滋樹
11	レポート・新聞読解演習	ことわざ・故事成語テスト② 「訪問看護師とともに」構成メモ・新聞記事を読む③	大森滋樹
12	レポート課題提出②	敬語表現・「訪問看護師とともに」レポート作成・提出	大森滋樹
13	レポート・新聞読解演習	敬語小テスト①・「がん看護の現場で」内容分析・新聞記事を読む④	大森滋樹
14	レポート・新聞読解演習	敬語小テスト②「がん看護の現場で」構成メモ・「訪問看護師とともに	大森滋樹
15	レポート課題提出③	「がん看護の現場で」レポート作成・提出 総まとめ	大森滋樹

【科目名】 英語Ⅰ  
 【年次・開講期】 1年次 前期  
 【時間】 16時間  
 【単位】 1単位  
 【担当講師】 高校教諭 鎌水 賢二

【授業概要】 自主教材を使用して、次の項目を柱に授業を展開する

- 1.生徒の語彙力、口頭表現能力を養う
- 2.視聴覚機器を使用して、聞く力を養う
- 3.英語で表現する方法を学ぶ
  - (1)語順の違いを学ぶ
  - (2)「時」の表し方を学ぶ
  - (3)話し手の気持ちや考えを付け加える表現を学ぶ

【到達目標】 英語表現の言動を理解し、自分の意思を適切に表現し、伝える能力を養う

- 1.歯科衛生に係る基本的な英語の専門用語を含めた語彙力の強化を図る
- 2.日本語と英語の語順の違いを意識させる
- 3.平易な文章を聞き、聞こえてくるままに英文を理解する能力を養う
- 4.簡単な日常表現を学習し、自分の言葉として表出する力を養う

【教科書】 学習プリント他

【参考書】

【評価方法】 中間テスト(前期) 30%、定期試験50%、アクティビティテスト20%

【授業計画】 講義

回	授業項目	授業項目	担当者	
1	歯科英語 ・英語コミュニケーション①	歯科英語・英語コミュニケーション(1) 英文のルール(1)	オリエンテーション 文の種類 リスニング(1)	鎌水 賢二
2	歯科英語 ・英語コミュニケーション②	歯科英語・英語コミュニケーション(2) 英文のルール(2)	会話表現(1) 時制(1) リスニング(2)	鎌水 賢二
3	歯科英語 ・英語コミュニケーション③	歯科英語・英語コミュニケーション(3) 英文のルール(3)	会話表現(2) 時制(2) リスニング(3)	鎌水 賢二
4	歯科英語 ・英語コミュニケーション④		中間試験 5月18日(月)	鎌水 賢二
5	歯科英語 ・英語コミュニケーション⑤	歯科英語・英語コミュニケーション(4) 英文のルール(4)	会話表現(3) 完了(1) リスニング(4)	鎌水 賢二
6	歯科英語 ・英語コミュニケーション⑥	歯科英語・英語コミュニケーション(5) 英文のルール(5)	会話表現(4) 完了(2) リスニング(5)	鎌水 賢二
7	歯科英語 ・英語コミュニケーション⑦	歯科英語・英語コミュニケーション(6) 英文のルール(6)	会話表現(5) 助動詞(1) リスニング(6)	鎌水 賢二
8	歯科英語 ・英語コミュニケーション⑧	歯科英語・英語コミュニケーション(7) 英文のルール(8)	会話表現(6) 助動詞(2) リスニング(7)	鎌水 賢二



【科目名】 **英語Ⅱ**

【年次・開講期】 2年次 後期

【時間】 16時間

【単位】 1単位

【担当講師】 高校教諭 村田 政孝

【授業概要】 歯科医療現場に於いて、英語で意思疎通を図る患者様に対応するために基礎的な英語力を身に付ける。

【到達目標】

- ・英文を読むために必要な基礎を説明できる。
- ・英文の直訳を意識せず、ある程度のスピードを維持して読み進める。
- ・難解な単語の意味を文面から推測し、その後補助手段を用いて意味を理解する。
- ・文面の内容や、筆者の意図を発表したり、自分の意見をまとめ他人と意見交換ができる。
- ・平易なスピードで話される英語を聞くための方法を説明する。
- ・短い対話の大意を把握することができる。

【教科書】 学習プリント

【参考書】

【評価方法】 定期試験(前期) 50%、中間試験 40%、アクティビティテスト10%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科英語 ・英語コミュニケーション①	英文法基礎・文型と動詞 コミュニケーション・予約 アクティビティ・ショートストーリー(へび、ハイジャック)	村田 政孝
2	歯科英語 ・英語コミュニケーション②	英文法基礎・助動詞 コミュニケーション・薬の依頼 アクティビティ・ショートストーリー(隣人、美術館)	村田 政孝
3	歯科英語 ・英語コミュニケーション③	英文法基礎・時制 コミュニケーション・緊急予約 アクティビティ・ショートストーリー(花屋、アヒル)	村田 政孝
4	歯科英語 ・英語コミュニケーション④	英文法基礎・態 コミュニケーション・健康保険証 アクティビティ・ショートストーリー(釣り、ケチ)	村田 政孝
5	歯科英語 ・英語コミュニケーション⑤	● 中間まとめ・中間テスト (英文法基礎、コミュニケーション) ・アクティビティテスト(ショートストーリー)	村田 政孝
6	歯科英語 ・英語コミュニケーション⑥	英文法基礎・不定詞 コミュニケーション・歯科衛生士	村田 政孝
7	歯科英語 ・英語コミュニケーション⑦	英文法基礎・動名詞 コミュニケーション・病歴	村田 政孝
8	歯科英語 ・英語コミュニケーション⑧	英文法基礎・分詞 コミュニケーション・歯周病	村田 政孝

【科目名】 人体の構造と機能 I

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 24時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学 歯学部 口腔構造・機能発育学系 組織学分野  
教授 入江 一元 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士として必要な人体の基本構造を学ぶとともに、構造に基づいた機能の関連を把握し、歯科・医科の臨床を理解するための基礎知識を深める。

【到達目標】

- ・身体の区分・方向用語が正しく使える。
- ・脊柱の構成と全景の概要を説明できる。
- ・骨格筋の基本構造が分かる。
- ・消化管の基本構造を模式図を用いて説明できる。
- ・体循環、肺循環、門脈の概念が説明ができる。
- ・内分泌器官を列挙し、簡単な説明ができる。
- ・人体の組織構造を概説できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能1「解剖学・組織発生学・生理学」  
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	解剖学概説、骨格系 I	解剖学の意義と解剖学用語、骨格系概説	入江 一元
2	骨格系 II、筋系 I	体幹骨、上肢骨、下肢骨、筋系概説、体の各部位の筋	入江 一元
3	筋系 II	内臓学の概説、消化器系、呼吸器系	入江 一元
4	消化器系 I	消化管	入江 一元
5	消化器系 II・呼吸器系	消化腺、呼吸器系	入江 一元
6	脈管系 I	循環、心臓	入江 一元
7	脈管系 II・神経系 I	動脈系、静脈系、リンパ系、神経系の概要、中枢神経系	入江 一元
8	神経系 II	中枢神経系・末梢神経系	入江 一元
9	泌尿器系・生殖器系	泌尿器系、男性生殖器	入江 一元
10	生殖器系・感覚器系	女性生殖器、視覚器、平衡聴覚器	入江 一元
11	内分泌器系・組織学	内分泌器系、細胞	入江 一元
12	組織学・発生学	組織、染色体、受精、胚葉形成	入江 一元

【科目名】 人体の構造と機能Ⅱ

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 16時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔機能学分野 口腔生理学教室  
保浦 七愛 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士に必要な人体の機能に関する知識を修得する。

【到達目標】

- ・生物の細胞内・生体内で行われる現象を理解する
- ・各組織、器官の働きについて理解する
- ・体内で生じる電気現象について理解する
- ・体内の恒常性を保つ仕組みを理解する

【教科書】 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能1「解剖学・組織発生学・生理学」  
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 ミニテスト10%, 中間試験30%, 定期試験(前期)60%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	生理学の意義 細胞の基本機能 神経, 筋肉	生理学の概念 細胞膜, 細胞小器官, 細胞の構造と機能 神経と筋肉の電気現象, 筋収縮	保浦 七愛
2	消化・吸収 血液・体液	消化酵素の働き, 腸管での吸収 血液の成分と機能, 止血, 凝固, 血液型	保浦 七愛
3	心臓 神経	心臓のはたらき 神経興奮のしくみ (小テスト)	保浦 七愛
4	自律神経系 呼吸	交感神経と副交感神経 肺のはたらき, 酸素と二酸化炭素の運搬	保浦 七愛
5	感覚 排泄	体性感覚, 特殊感覚, 感覚受容器とその電気現象 排尿, 排便, 発汗	保浦 七愛
6	体温調節 内分泌	産熱と放熱, 平熱と発熱, 体温のセットポイント ホルモンのはたらき(1)	保浦 七愛
7	内分泌 生殖	ホルモンのはたらき(2) 性周期とホルモン, 基礎体温 (小テスト)	保浦 七愛
8	まとめ	1~7回の講義内容についての簡単なまとめと解説。	保浦 七愛

【科目名】 生化学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 30時間

【単位】 2単位

【担当講師】 天使大学 看護栄養学部栄養学科  
准教授 金澤 康子 薬学博士実務経験あり

【授業概要】 ヒトのからだは200種類の細胞が数十兆個集まった一つの集合体である。からだの主な構成成分であるタンパク質、糖質、脂質、無機質、核酸の代謝を理解すると共に、歯とそれを取り囲む口腔組織および唾液の機能、さらには歯蝕、歯周疾患の成り立ちとその予防法について理解する。

【到達目標】

- ・細胞の構造と細胞小器官の作用を説明できる。
- ・糖質、脂質、タンパク質の種類と構造を説明できる。
- ・糖質、脂質、タンパク質の代謝を概説できる。
- ・血糖値の調節機構を概説できる。
- ・歯の形成と脱灰の仕組みが説明できる。
- ・唾液の成分と機能を説明できる。
- ・プラークの組成と形成機構を概説できる。
- ・歯周疾患の発生メカニズムを概説できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能2「栄養と代謝」  
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	生体の構成要素	細胞の種類と細胞小器官 生体の化学組成	金澤 康子
2	生体構成成分と栄養素	糖質・脂質の種類と構造 タンパク質の構造と役割	金澤 康子
3	生体における化学反応	ビタミンやミネラルの種類と役割 酵素の性質とはたらき	金澤 康子
4	糖質の代謝	糖質の消化と吸収 糖質の代謝とエネルギー生成	金澤 康子
5	脂質の代謝	脂質の消化と吸収、脂肪酸の酸化とエネルギー産生 脂肪の合成、体内の脂質の輸送のしくみ	金澤 康子
6	タンパク質とアミノ酸の代謝	タンパク質の消化と吸収 アミノ酸代謝と代謝異常症	金澤 康子
7	タンパク質の合成	DNAと遺伝子 タンパク質の合成	金澤 康子
8	生体における恒常性の維持	血液のpHを一定に保つ仕組み 血糖値の調節機構	金澤 康子
9	歯と歯周組織の生化学	結合組織の組成と機能 歯の構成成分	金澤 康子

回	授業項目	授業内容	担当者
10	硬組織の生化学(1)	血清中のカルシウムとリン酸 骨の構成成分と石灰化のしくみ	金澤 康子
11	硬組織の生化学(2)	骨の生成と吸収 歯の脱灰と再石灰化	金澤 康子
12	唾液の生化学	唾液の成分と機能 カルシウムとリン酸の調節機構	金澤 康子
13	プラークの生化学(1)	プラークの組成と形成機構 う蝕の発症メカニズム	金澤 康子
14	プラークの生化学(2)	歯周疾患発症のメカニズム 生体防御機構と炎症反応	金澤 康子
15	まとめ	全体の復習と試験対策	金澤 康子

【科目名】 口腔組織・発生

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 16時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学 歯学部 口腔構造・機能発育学系 組織学分野  
講師 建部 廣明 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士として必要な歯および口腔諸器官の組織学および発生学を理解する。

【到達目標】

- ・歯と歯周組織の発生を概説できる。
- ・歯と歯周組織の構造を図説できる。
- ・鰓弓の形成を概説できる。
- ・顔面と口唇の形成が説明できる。
- ・口蓋と鼻腔の形成が説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」  
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯の形態、 歯と歯周組織の発生	歯と歯周組織	建部 廣明
2	歯と歯周組織の発生	歯と歯周組織	建部 廣明
3	歯および歯周組織の 構造と機能	歯と歯周組織	建部 廣明
4	歯および歯周組織の構造 と機能	歯と歯周組織の発生	建部 廣明
5	歯および歯周組織の構造 と機能	歯と歯周組織の発生	建部 廣明
6	顔面と口腔の発生	鰓弓の形成	建部 廣明
7	顔面と口腔の発生	顔面と口唇の形成	建部 廣明
8	顔面と口腔の発生	口蓋と鼻腔および舌と腺の形成	建部 廣明

【科目名】 口腔解剖学

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 30時間

【単位】 2単位

【担当講師】 札幌医科大学医学部 口腔外科学講座  
講師 萩 和弘 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 口腔解剖学は口腔、口腔周辺および歯の形態と構造の特徴を知り、将来歯科医療を担う歯科衛生士としての基本的知識の習得を目的とする。

- 【到達目標】
- ・顔面および口腔の範囲を説明できる。
  - ・固有口腔と口腔前庭にある名称を説明できる。
  - ・唾液腺の位置と構造を説明できる。
  - ・顔面及び口腔を構成する骨の名称を説明できる。
  - ・頭頸部の筋の構成と機能を概説できる。
  - ・咀嚼筋の構成と機能を説明できる。
  - ・頭頸部の脈管を概説できる。
  - ・頭頸部の神経を概説できる。
  - ・三叉神経と顔面神経の走行と線維構成を概説できる。
  - ・顎関節の構造と機能を概説できる。
  - ・歯種別の形態と特徴を説明できる。
  - ・永久歯と比較した乳歯の特徴が説明できる。
  - ・歯列と咬合を概説できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」  
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	口腔付近の肉眼解剖学	口腔とは？ 口唇と頬, 口腔前庭, 固有口腔, 口峽, 舌, 咽頭	萩 和弘
2	唾液腺(口腔腺)の解剖学	唾液腺(口腔腺)	萩 和弘
3	頭頸部の骨学1	頭蓋骨(眼窩, 鼻腔, 副鼻腔, 頭蓋冠, 頭蓋底)	萩 和弘
4	頭頸部の骨学2	顔面骨(上顎骨, 下顎骨, 口蓋骨, 舌骨), 顎関節	萩 和弘
5	頭頸部の筋学	表情筋(口裂周囲の筋), 舌骨上筋(舌骨上筋群, 顎下三角とオトガイ下三角), 咀嚼筋(咬筋, 側頭筋, 内側翼突筋, 外側翼突筋)	萩 和弘
6	頭頸部の脈管学1	口腔付近に分布する動脈・静脈(総頸動脈, 外頸動脈, 内頸静脈, 頭頸部の動脈と静脈との差異)	萩 和弘
7	頭頸部の脈管学2	頭頸部のリンパ系(顎下リンパ節, オトガイ下リンパ節, 深頸リンパ節)	萩 和弘
8	頭頸部の神経学1	脳神経(三叉神経, 顔面神経)	萩 和弘

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
9	頭頸部の神経学2	脳神経(舌咽神経, 迷走神経, 舌下神経), 脊髄神経, 自律神経	萩 和弘
10	歯の解剖学1	歯の解剖学的用語(臨床で使用される歯の用語や方向)	萩 和弘
11	歯の解剖学2	永久歯の形態的特徴(中切歯・側切歯・犬歯)	萩 和弘
12	歯の解剖学3	永久歯の形態的特徴(小臼歯)	萩 和弘
13	歯の解剖学4	永久歯の形態的特徴(大臼歯)	萩 和弘
14	歯の解剖学5	乳歯の形態的特徴(乳歯, 永久歯との比較)	萩 和弘
15	歯の解剖学6	歯の配列と咬合、異常歯(数の異常、形態の異常、萌出時期・萌出位置の異常)	萩 和弘



【科目名】 **口腔生理学**

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 16時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔機能学分野 口腔生理学教室  
保浦 七愛 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士に必要な口腔の機能に関する知識を修得する。

【到達目標】

- ・口腔の様々な機能を理解する
- ・歯と歯周組織の機能と仕組みについて理解する。
- ・味をどのように感じるのか理解する
- ・下顎の運動や機能を理解する
- ・嚥下を理解する
- ・唾液の性質と役割を理解する

【教科書】 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能1「解剖学・組織発生学・生理学」  
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 ミニテスト(10%), 中間試験(30%), 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	口腔生理学の意義	口腔機能概要とその役割	保浦 七愛
2	歯と歯周組織構造と機能	歯と歯髄と口腔粘膜の感覚, 歯根膜の感覚と機能	保浦 七愛
3	味覚	5基本味, 味覚の受容機構	保浦 七愛
4	下顎位と顎運動	下顎位, 下顎の運動、限界運動、顎反射(小テスト)	保浦 七愛
5	咬合と咀嚼	咀嚼, 咬合力, 咀嚼能力	保浦 七愛
6	吸引, 嚥下	嚥下運動, 嘔吐の機序(小テスト)	保浦 七愛
7	唾液	唾液の分泌機構, 性状と成分, 働き, 疾患との関係	保浦 七愛
8	発声・実習	発声機構の概略, 喉頭の機構, 音声の生成, 言語音の形成 生理学に関する総合的実習	保浦 七愛

【科目名】 歯牙解剖学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科技工士科  
専任教員 村上 珠緒 歯科技工士実務経験あり

【授業概要】 基礎的知識の再確認と各歯牙の特徴を学び、歯種の鑑別ができるようにする。  
上顎中切歯の彫刻をして詳細な形態を学ぶ。

【到達目標】

- ・歯および口腔について解剖学的見地について説明できる。
- ・歯の種類と名称を列挙できる。
- ・歯の形態を彫塑できる。
- ・歯の形態の特徴を理解し、歯型彫刻の技術を習得する。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能 「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」  
全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 スケッチ25%、歯型彫刻25%、小テスト25%、鑑別試験の評価25%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯および歯周組織の構造と機能	◎歯牙解剖実習のための基礎的知識の復習 ・歯の組織・表示法・歯式について理解する。 ・歯の鑑別方法(三徴候)について理解する。 ・セメント-エナメル境の形について理解する。 ・咬合と下顎の運動について理解する。  ◎テンポラリークラウン製作のためのアプローチ ・ポッセルトの図形、ゴシックアーチについて理解する。 ・何故、歯の形態を学ばなければならないかを理解する。	村上 珠緒
2	歯の形態 前歯の形態学的特徴 歯・口腔の構造と機能を理解するための実習	◎上下顎前歯の特徴について ◎スケッチの方法と実際 ◎上顎6前歯の唇側面のスケッチ ◎歯型彫刻のための上顎右側中切歯の5面観のスケッチ	村上 珠緒
3	歯の形態 小臼歯の形態学的特徴 歯の形を理解する実習	◎上顎小臼歯の特徴について ◎上顎小臼歯の頬側面観・咬合面観のスケッチ ◎上顎右側中切歯のステップカービング ・切り出しの使い方	村上 珠緒
4	歯の形態 大臼歯の形態学的特徴 歯の形を理解する実習	◎上顎大臼歯の特徴について ◎上顎大臼歯の頬側面観・咬合面観のスケッチ ◎上顎右側中切歯のステップカービング(枠取り)	村上 珠緒

回	授業項目	授業内容	
5	歯の形態 大臼歯の形態学的特徴 歯の形を理解する実習	◎下顎小臼歯の特徴について ◎上顎小臼歯の頬側面観・咬合面観のスケッチ ◎上顎右側中切歯のステップカービング(スケッチ) ◎上顎右側中切歯のステップカービング(近遠のカット)	村上 珠緒
6	歯の形態 大臼歯の形態学的特徴 歯の形を理解する実習	◎下顎大臼歯の特徴について ◎下顎大臼歯の頬側面観・咬合面観のスケッチ ◎上顎右側中切歯のステップカービング(唇舌のカット)	村上 珠緒
7	歯の形を理解する実習	◎上顎右側中切歯のステップカービング(咬合面のカット) ◎上顎右側中切歯のステップカービング(舌側面のカット) ◎上顎右側中切歯のステップカービング(多面体のカット)	村上 珠緒
8	歯の形を理解する実習	◎上顎右側中切歯のステップカービング(仕上げのカット) ◎上顎右側中切歯のステップカービング(完成)	村上 珠緒
9	歯の鑑別	◎歯の鑑別チャートを使ったグループ別鑑別 ◎歯の鑑別模擬試験(5F実習室)	村上 珠緒
10	歯の鑑別	◎歯の鑑別試験(5F講堂) <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑別時間は1歯15秒での鑑別</li> <li>・学生の時計回り方式</li> </ul>	村上 珠緒

【科目名】 病理学

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 32時間

【単位】 2単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔病態学分野  
准教授 東野 史裕 歯科医師実務経験あり  
特任助教 松田 彩 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 病気の原因、病気発生のしくみ、症状などについて学ぶのが病理学である。様々な病気について知ることは、それぞれの病気の治療法や予防法の意味を正しく理解するためにも重要である。前半は病気発生機序の基本を学び、後半は口腔領域に発生する病気について学習する。

【到達目標】

- ・内因、外因を概説できる。
- ・虚血、充血、うっ血の違いを説明できる。
- ・細胞、組織の変性、萎縮、壊死を概説できる。
- ・ネクローシスとアポトーシスの違いを説明できる。
- ・肥大、増生、化生、再生を概説できる。
- ・炎症の定義を説明できる。
- ・炎症を分類できる。
- ・腫瘍の定義を説明できる。
- ・良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。
- ・腫瘍を分類できる
- ・前がん病変を概説できる。
- ・歯の発育障害の種類と病態を概説できる。
- ・う蝕を組織学的に分類し、その特徴を説明できる。
- ・歯周疾患の病因と病態を説明できる。
- ・歯周疾患を分類しその特徴を概説できる。
- ・根尖性歯周炎を分類しその特徴を説明できる。
- ・歯髄疾患の病因と病態を説明できる。
- ・口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。
- ・口腔領域の嚢胞を概説できる。
- ・口腔領域の腫瘍を概説できる。
- ・唾液腺疾患を概説できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進1「病理学・口腔病理学」  
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 「イラストでわかる 歯科医学の基礎」 永末書店

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義・標本観察

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	病理学序論と病因論、遺伝性疾患と奇形	内因、外因、遺伝子の基礎、染色体異常、奇形	東野 史裕
2	循環障害	水腫、虚血、充血、うっ血、梗塞	東野 史裕
3	代謝障害と退行性病変	変性、萎縮、壊死、アポトーシス	東野 史裕

回	授業項目	授業内容	担当者
4	増殖と修復	肥大、増生、化生	東野 史裕
5	炎症	炎症性細胞、急性炎症、慢性炎症、転帰	東野 史裕
6	感染症	病原微生物、感染経路、日和見感染症	東野 史裕
7	免疫応答異常	免疫応答、アレルギー、自己免疫疾患	東野 史裕
8	腫瘍	悪性腫瘍、腫瘍発生機序、転移、疫学、分類	東野 史裕
9	歯の発育異常、歯の損傷と着色・付着物	歯の異常、着色、プラーク、歯石	東野 史裕
10	う蝕、象牙質・歯髄複合体の病変	齲蝕の病因、退行病変、象牙質知覚過敏、歯髄炎	東野 史裕
11	歯周組織の病態	急性・慢性根尖性歯周炎、歯周炎、エプーリス	東野 史裕
12	口腔粘膜の病変、口腔領域の嚢胞と腫瘍	口腔・舌の発育異常、粘膜上皮の疾患、口腔癌	東野 史裕
13	口腔癌、顎骨の病変、唾液腺の病変 口腔領域の奇形、口腔組織の加齢変化	歯原性・非歯原性嚢胞、顎関節炎、シェーグレン症候群	東野 史裕
14	光学顕微鏡による標本の観察・スケッチ①	切片標本：齲蝕・歯周炎 組織標本：根尖性歯周炎・辺縁性歯周炎・エプーリス 実体顕微鏡による歯牙標本の観察	松田 彩
15	光学顕微鏡による標本の観察・スケッチ②	組織標本：エナメル上皮種・唾液腺腫瘍・扁平上皮癌 実体顕微鏡による歯牙標本の観察	松田 彩

【科目名】 微生物学

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 30時間

【単位】 2単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔病態学分野  
名誉教授 柴田 健一郎 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 まず、微生物の種類と構造ならびに感染様式を理解し、次に、生体がどの様に微生物を認識、排除しているかという免疫機構も理解する。さらに、これらの知識をもとにどのようにして感染を防ぐかという滅菌と消毒、さらには感染を治療する化学療法についても理解する。

【到達目標】

- ・微生物の種類と一般的性状を説明できる。
- ・感染と発症を説明できる。
- ・微生物の感染機構と病原性を概説できる。
- ・宿主の抵抗性を概説できる。
- ・自然免疫と獲得免疫を説明できる。
- ・液性免疫と体液性免疫を説明できる。
- ・抗原、抗体およびサイトカインを説明できる。
- ・口腔常在微生物を概説できる。
- ・デンタルプラークの形成とその微生物叢を概説できる。
- ・う蝕原因菌を概説できる。
- ・歯周病原菌を概説できる。
- ・微生物が原因で口腔に症状を表す疾患を概説できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進2「微生物学」  
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 講義ごとの復習小テスト10%、中間試験45%、定期試験(前期)45%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	微生物学の発達と歴史	アンソニーフォンレーベンフーク、ロベルト・コッホ、パスツールらの病原微生物学への貢献ならびにミラーの口腔微生物学への貢献などについて	柴田 健一郎
2	微生物の一般的性状	細菌, リケッチア, クラミジア, 真菌, 原虫, ウイルス, プリオン	柴田 健一郎
3	培養方法と観察方法	微生物の分類, 記載方法, 培養方法と顕微鏡による観察方法	柴田 健一郎
4	感染と発症 I	微生物の病原性と宿主の自然免疫(補体, Toll様受容体)	柴田 健一郎
5	感染と発症 II	感染症の種類, 感染源, 感染経路	柴田 健一郎
6	免疫 I	免疫とは, 自然免疫と獲得免疫	柴田 健一郎
7	免疫 II	抗原提示, 液性免疫, 体液性免疫	柴田 健一郎
8	免疫 III	アレルギー, 粘膜免疫	柴田 健一郎

回	授業項目	授業内容	担当者
9	微生物各論	A群連鎖球菌, 黄色ブドウ球菌, 腸内細菌, インフルエンザウイルス, エイズウイルス	柴田 健一郎
10	化学療法, 滅菌と消毒	種々の化学療法剤, 選択毒性, 薬剤耐性, 滅菌と消毒の定義, それらの方法	柴田 健一郎
11	口腔内常在微生物	口腔常在細菌叢, 唾液, デンタルプラーク(バイオフィルム)の形成	柴田 健一郎
12	う蝕	ミュータンス連鎖球菌, う蝕原性, 歯髄炎	柴田 健一郎
13	歯周病	歯肉炎, 急性壊死性歯肉炎, 慢性歯周炎, 破壊性歯周炎ならびにそれらの病原体と病原因子	柴田 健一郎
14	その他の口腔感染症	口腔カンジダ症, 顎放線菌症, 手足口病, ヘルパンギーナ	柴田 健一郎
15	歯科診療上留意すべきウイルス感染症	B及びC型肝炎, エイズ, T細胞白血病, ヘルペスウイルス感染	柴田 健一郎

【科目名】 薬理学

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 30時間

【単位】 2単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔病態学分野  
名誉教授 鈴木 邦明 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士は歯科臨床の場において多くの薬物に関わるので、薬物から最大の効果を引き出し、安全に使用するための知識を身につける必要があります。近年は、高齢化に伴い歯科以外の疾患をもち、多くの薬物を投与されている患者が受診する機会も増えています。それらの薬が歯科治療に与える影響、歯科治療に使用する薬との相互作用に関する知識も必要であり、薬物全般に関して学ぶ必要があります。これらの知識は服薬指導を行う上での基礎としても大切です。

【到達目標】

- ・薬理作用の基本形式と分類を説明できる。
- ・薬物の作用機序を説明できる。
- ・薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。
- ・薬物の併用を説明できる。
- ・薬物の連用の影響を説明できる。
- ・医薬品の分類とそれぞれの表示および保管方法を説明できる。
- ・主な抹消神経作用薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・主な中枢神経作用薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・主な循環器系に作用する薬物の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・主な呼吸器系に作用する薬物の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・主な消化器系に作用する薬物の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・主な止血薬、抗血栓薬、抗貧血薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・主な抗炎症薬、解熱鎮痛薬、消炎酵素薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・主な局所麻酔薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・主な抗感染症薬と消毒薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・う蝕の予防に用いる薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・歯内療法に用いる薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・歯周治療に用いる薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3「薬理学」第2版  
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 必要に応じて配布するプリント  
現代歯科薬理学第6版 医歯薬出版

【評価方法】 定期試験(前期)80%、平常点(小テスト)20%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	総論(1):薬物の作用	薬物療法の種類, 薬理作用の様式, 基本形式, 分類, 用量反応関係と薬用量の用語, 薬理作用の機序	鈴木 邦明



回	授業項目	授業内容	担当者
2	総論(2):薬物動態	生体膜通過様式, 吸収, 分布, 代謝, 排泄, 生物学的半減期	鈴木 邦明
3	総論(3):薬物の適用方法の種類と特徴, 薬物の作用に影響を与える要因	薬物の適用方法の種類, 血中濃度の推移, 生物学的利用能, 薬効に影響する因子, 薬物の連用, 併用, 相互作用	鈴木 邦明
4	総論(4):薬物の副作用, 有害作用, 医薬品を適用する際の注意	薬物の有害作用の分類と原因, 一般的副作用, 歯科領域における副作用, 副作用・有害作用の予知と回避	鈴木 邦明
5	総論(5):薬物の取り扱い, 薬物と法律・薬物と医薬品	医薬品の剤形, 処方せん, 配合変化, 薬物の保存方法, 医薬品医療機器法, 日本薬局方, 毒薬・劇薬の表示と保管, 麻薬及び向精神薬取締法, 覚せい剤取締法	鈴木 邦明
6	各論(1):ビタミンとホルモン, 末梢神経系に作用する薬物(1)	ビタミン, ホルモン, アドレナリン受容体, アセチルコリン受容体, 交感神経と副交感神経の働きと神経伝達物質, 交感神経作動薬と遮断薬	鈴木 邦明
7	各論(2):末梢神経系に作用する薬物(2), 中枢神経系に作用する薬物(1)	副交感神経作動薬と遮断薬, 全身麻酔薬, アルコール類, 催眠薬・抗不安薬, 抗てんかん薬	鈴木 邦明
8	各論(3):中枢神経系に作用する薬物(2), 循環器系に作用する薬物	向精神薬, 中枢神経興奮薬, パーキンソン病治療薬, アルツハイマー病治療薬, 高血圧治療薬, 不整脈治療薬, 心不全治療薬, 狭心症治療薬, 脂質異常症治療薬	鈴木 邦明
9	各論(4):腎臓に作用する薬物, 呼吸器系に作用する薬物, 消化器系に作用する薬物, 血液に作用する薬物	腎臓の機能と構造, 主な利尿薬と作用機序, 気管支喘息治療薬, 鎮咳薬, 去痰薬, 消化性潰瘍治療薬, 鎮痙薬, 止血機構, 止血薬, 抗血栓薬, 抗貧血薬	鈴木 邦明
10	各論(5):免疫と薬, 悪性腫瘍と薬, 代謝性疾患治療薬, 炎症と薬(1)	免疫増強薬, 免疫抑制薬, 抗アレルギー薬, 悪性腫瘍とは, 抗悪性腫瘍薬, 糖尿病治療薬, 骨粗鬆症治療薬, アラキドン酸カスケード, 炎症のケミカルメディエーター	鈴木 邦明
11	各論(6):炎症と薬(2), 痛みと薬, 局所麻酔薬(1)	ステロイド性抗炎症薬, 非ステロイド性抗炎症薬, 解熱鎮痛薬, 痛覚の発生と伝導, オピオイド系鎮痛薬, 非オピオイド系鎮痛薬, 局所麻酔薬の作用機構, 血管収縮薬の併用	鈴木 邦明
12	各論(7):局所麻酔薬(2), 抗感染薬(1)	局所麻酔薬の分類と化学構造, 適用法, 感染症と抗感染薬, 抗感染薬の作用機序と副作用, $\beta$ -ラクタム系抗菌薬	鈴木 邦明
13	各論(8):抗感染薬(2), 消毒に使用する薬(1)	マクロライド系抗菌薬, テトラサイクリン系抗菌薬, ニューキノロン系抗菌薬, 消毒薬の作用機序, 消毒薬の分類, 酸化剤, ハロゲン化合物, アルコール類, アルデヒド類	鈴木 邦明
14	各論(9):消毒に使用する薬(2), う蝕予防薬, 歯内療法薬(1)	フェノール類, 界面活性剤, HBVおよびHIVに対する消毒薬, フッ化物の臨床応用, 歯髄の保存に用いる薬物, 根管治療に用いる薬物	鈴木 邦明
15	各論(10):歯内療法薬(2), 歯周疾患治療薬, 顎・口腔粘膜疾患と薬, 漢方医学と薬物	象牙質知覚過敏症に用いる薬物, 歯周疾患治療薬, 洗口薬, 口臭治療に用いる薬物, 炎症性疾患, 口腔粘膜疾患, 顎関節症, 口腔乾燥症, 神経疾患に用いる薬物, 漢方医学とは, 漢方薬とは	鈴木 邦明

【科目名】 保健生態学Ⅰ

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 30時間

【単位】 2単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部 口腔構造・機能発育学系 保健衛生学分野  
講師 水谷 博幸 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 衛生・公衆衛生学は、人間の健康問題を様々な要因の相互関係から考えていくと同時に、高校までの知識を身に付けているかを確認できる科目である。自分たちのおかれている地球・国・地域・集団における衛生・保健に関係する要因を正確に把握し、それを解析することのできる能力が必要となってくる。本教科ではこの力を養うために、自分の周囲の環境、疾病の予防方法、さらには地域・国家における保健機構について学習する。

【到達目標】

- ・健康の定義と国民の権利を説明できる。
- ・第一次予防、第二次予防、第三次予防を説明できる。
- ・疾病や異常の発生要因(因子)を列挙できる。
- ・疫学研究の方法を概説できる。
- ・わが国と世界における人口の現状と推移を概説できる。
- ・人口の高齢化を概説できる。
- ・健康と環境の関係を説明できる。
- ・地球環境の変化とその対応を説明できる。
- ・感染症の概念と感染成立の三要因を説明できる。
- ・感染症の動向とその対策を説明できる。
- ・食中毒の分類と特徴を説明できる。
- ・食品の安全確保のための方策を列挙できる。
- ・地域保健活動を担う組織の仕組みと特徴を概説できる。
- ・地域保健活動の基本的な進め方を概説できる。
- ・わが国の母子保健の概略を説明できる。
- ・学校保健機構を概説できる。
- ・生活習慣病のリスクファクターを列挙できる。
- ・産業保健の目的を説明できる。
- ・トータルヘルスプロモーション(THP)を説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「保健生態学」第3版

全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	<総論> 1.衛生・公衆衛生の定義 2.健康の概念 3.予防医学の考え方	・衛生・公衆衛生学の概念並びにその範囲を理解する。 ・「健康」という意味を理解する。 ・プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションについて学ぶ。	水谷 博幸

回	授業項目	授業内容	担当者
2	<疫学> 1.疫学概念 2.疫学要因 3.疫学実際	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疫学という研究方法を理解する。</li> <li>・健康障害因子を理解する。</li> <li>・疫学研究の方法論を学ぶ。</li> </ul>	水谷 博幸
3	<人口> 1.人口静態統計 2.人口動態統計 3.生命表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家の基本となる人口ならびに人口構成を理解する。</li> <li>・少子・高齢化によってどのような社会変化をきたしてきたかを理解する。</li> <li>・わが国と諸外国との人口統計を比較する。</li> </ul>	水谷 博幸
4	<健康と環境> 1.健康と環境 2.温熱環境 3.空気 4.放射線(光線・電磁波) 5.日本の気候 6.水の衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活環境を理解する。</li> <li>・生命維持に必要な空気・水などの衛生がどのように守られているかを知る。</li> <li>・有害環境因子はどのようなものであるかを知る。</li> <li>・公害の種類を知り、わが国の歴史的公害事件を学ぶ。</li> <li>・地球環境の保全について学ぶ。</li> </ul>	水谷 博幸
5	<感染症> 1.感染症 2.感染症の予防 3.急性・慢性疾患の予防 4.主要な感染症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染の定義について学ぶ。</li> <li>・感染症の要因を知り、その予防法について学ぶ。</li> <li>・主な感染症の動向を知り、対策を理解する。</li> </ul>	水谷 博幸
6	<食品と健康> 1.国民栄養所要量 2.食中毒 3.食品添加物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康・栄養調査について学ぶ。</li> <li>・食中毒の原因別分類、発生頻度などを十分に理解する。</li> <li>・食品添加物の種類と機能について学ぶ。</li> </ul>	水谷 博幸
7	<地域保健> 1.地域保健活動 2.地域保健問題 3.地域保健計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所と保健センターについて学ぶ。</li> <li>・保健所の業務について学ぶ。</li> </ul>	水谷 博幸
8	<母子保健> 1.母子保健法 2.母子保健統計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健に用いられる用語の定義を学ぶ。</li> <li>・妊産婦や乳幼児の保健について学ぶ。</li> </ul>	水谷 博幸
9	<学校保健> 1.学校保健機構 2.学校保健教育 3.学校保健管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校保健機構について学ぶ。</li> <li>・学校保健の健康診断について学ぶ。</li> <li>・学校三師の役割を学ぶ。</li> </ul>	水谷 博幸
10	<成人・高齢者保健> 1.フレイル 2.ロコモティブシンドローム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の現状および未来を考える。</li> <li>・言葉の意味を学ぶ。</li> </ul>	水谷 博幸
11	<産業保健> 1.労働環境と健康 2.労働衛生の三管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所における従業員の保健管理を知る。</li> <li>・THP(トータルヘルスプロモーション)について学ぶ。</li> </ul>	水谷 博幸

【科目名】 保健生態学Ⅱ

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 40時間

【単位】 2単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野  
助教 竹原 順次 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 口腔の健康を保持・増進し、歯科疾患を予防するための基本的知識を習得、その中における歯科衛生士の役割を理解する。また、公衆歯科衛生活動の中における歯科衛生士の役割を理解する。

【到達目標】

- ・口腔の健康の定義を説明できる。
- ・歯・口腔の機能を説明できる。
- ・歯・口腔の付着物と沈着物を説明できる。
- ・口腔清掃の意義を説明できる。
- ・う蝕の疫学的特徴を概説できる。
- ・う蝕発病のメカニズムを説明できる。
- ・う蝕発病要因を説明できる。
- ・フッ化物応用によりう蝕予防法を列挙できる。
- ・歯周疾患の種類が説明できる。
- ・歯周疾患の全身に与える影響が分かる。
- ・妊産婦への歯科保健指導の要点を説明できる。
- ・学校保健の対象者を列挙し、意義を説明できる。
- ・学校歯科健康診断のCOとGOの事後措置を説明できる。
- ・成人期の口腔保健管理を説明できる。
- ・高齢者の歯科保健の特徴を列挙できる。
- ・口腔内における職業性疾患とそれに対する特殊健康診断を説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「保健生態学」第3版

全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	総論 歯・口腔の健康と予防 歯・口腔の健康 歯・口腔の発生と成長・発育	・健康の定義/口腔の健康の定義/予防の3相と5段階 ・ハイリスクストラテジートポピュレーションストラテジー ・歯と口腔の構造/歯の種類と構造/口腔粘膜/唾液腺の種類と作用 ・歯と口腔の発生と成長発育 ・歯の発生と萌出時期	竹原 順次
2	歯・口腔の発生と成長・発育 歯・口腔の機能 歯・口腔の健康と全身の健康 歯・口腔の付着物・沈着物	・顎骨の成長発育/歯・口腔の形成に関連する栄養素/歯数、形態、色調、萌出の異常 ・咀嚼、嚥下、味覚、発音 ・歯科疾患と全身の健康、全身疾患と口腔の健康 ・ペリクル/プラーク	竹原 順次

回	授業項目	授業内容	担当者
3	歯・口腔の付着物・沈着物 口腔清掃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マテリアアルバ/歯石/舌苔/外来性色素沈着</li> <li>・口腔清掃の意義</li> <li>・口腔清掃法</li> <li>・人工的清掃法の分類と用具/各種ブラッシング法/補助清掃用具/染出し剤/ブラッシングの有害性/歯磨き剤と洗口剤</li> </ul>	竹原 順次
4	う蝕の予防 歯科疾患の疫学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・う蝕発生のメカニズム</li> <li>・う蝕病院論の変遷/う蝕の発生要因/う蝕活動性試験/う蝕の予防法</li> <li>・う蝕の疫学/疫学的特徴とわが国の現状</li> </ul>	竹原 順次
5	フッ化物による齲蝕予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フッ化物に関する基礎知識</li> <li>・フッ素の代謝</li> <li>・フッ化物の毒性</li> <li>・フッ化物の齲蝕予防メカニズム</li> <li>・フッ化物応用による齲蝕予防/全身応用・局所応用</li> </ul>	竹原 順次
6	歯周疾患の予防 歯科疾患の疫学 その他の疾患・異常の予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯周疾患の症状と分類/歯周疾患の発生機序/歯周疾患の全身に与える影響/歯周疾患の予防手段と処置</li> <li>・歯周疾患の疫学</li> <li>・口内炎/口腔癌/不正咬合/顎関節症/歯の形成不全/口臭症/口腔乾燥症</li> </ul>	竹原 順次
7	地域保健・公衆衛生 精神保健 国際保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会と地域保健の概念</li> <li>・地域保健の組織</li> <li>・地域保健の新たな概念</li> <li>・国際協力の仕組み/実施機関/国際保健戦略</li> </ul>	竹原 順次
8	ライフステージごとの口腔 保健管理1 ・母子保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健の目的及び概要</li> <li>・母子保健</li> <li>・小児保健</li> <li>・歯/口腔について</li> <li>・母子保健の現状と今後</li> </ul>	竹原 順次
9	ライフステージごとの口腔 保健管理2 ・小児期の口腔保健 ・学校保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学齢期、思春期の歯科保健</li> <li>・学校保健の意義と特徴</li> <li>・学校保健の活動と組織</li> <li>・学校歯科保健</li> </ul>	竹原 順次
10	ライフステージごとの口腔 保健管理3 ・成人期/老年期の口腔保 健 ・成人保健 ・老人(高齢者)保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人期、老年期の歯科保健</li> <li>・成人保健の意義</li> <li>・成人保健対策</li> <li>・老人保健の意義/老人保健のための組織と関係法規</li> <li>・産業保健の概念/職業性疾病/産業保健管理/産業保健活動</li> </ul>	竹原 順次

【科目名】 衛生統計学

【年次・開講期】 3年次 後期

【時間】 16時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野  
助教 竹原 順次 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科疾患の疫学的特徴が歯科保健指導に応用でき、疾患の予防に役立つことを理解する。  
また、疫学的特徴を表すために必要な歯科疾患の指数の意味、応用法の基本を理解する。

【到達目標】

- ・疫学の目的を説明できる。
- ・調査方法を分類し、説明できる。
- ・研究方法の分類が分かる
- ・歯科疾患の指標を列記できる。
- ・う蝕の指標を説明できる。
- ・歯周疾患の指標を説明できる。
- ・口腔清掃状態の指標を説明できる。
- ・保健情報の収集方法が分かる。
- ・基本統計の値が分かる。

【教科書】 歯科衛生士テキスト『口腔衛生学』第2版 学健書院

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	第7章 歯科疾患の疫学と 歯科保健統計 1. 疫学概論 2. 疫学の方法 1) 基本的研究方法 2) 疫学手法の基本的流れ 3. 歯科疾患の疫学 1) 歯科疾患の数量化 2) う蝕の検出基準と指標 (1) う蝕の検出基準 (2) う蝕に関する指標 (3) その他の指標	疫学とは 疫学の3要因  記述, 分析, 実験(介入)疫学  う蝕の検出基準 学校歯科健診記号とDMF, dmf, def, df DMF者率, DMF歯率, DMF歯面率, DMFT指数, DMFS指数 dmf歯率, def歯率, def者率, dmft指数, defft指数, dft指数 う蝕抑制率, DHC, RID Index	竹原 順次

回	授業項目	授業内容	担当者
2	8. 歯科疾患の疫学特性 (1)う蝕 4. 歯周疾患に関する指標	宿主, 環境, 病因, 時間要因 GO, G, PMA Index, PI, PDI, GB Count, GI, CPI	竹原 順次
3	8. 歯科疾患の疫学特性 (2)歯周疾患 (3)その他 5. 口腔清掃状態に関する指標 6. 歯のフッ素症に関する指標	宿主, 環境, 病因, 時間要因 口腔の悪性新生物 OHI, OHI-S, Quigley・HeinのPI, PHP, PI I, PCR, Ainamoの 口腔清掃状況の指標 CFI	竹原 順次
4	7. 不正咬合の指標 9. 調査と統計 1)情報の収集 2)統計処理 (1)既存資料 (2)国家統計 3)統計処理の実際 (1)標本抽出 (2)標本の大きさの決め方 (3)データの集計 (4)統計表・グラフの作成 (5)基本統計値 代表値 ばらつき 相関 (6)推定と検定	DAI 有病率, 罹患率, 発生率, スクリーニングテスト, 歯の識別 データの尺度 歯科疾患実態調査, 学校保健統計, 患者調査, 国民健康・栄養調査 基幹統計, 一般統計 種々の標本抽出法 度数分布表 度数分布図 平均値, 中央値, 最頻値 分散, 標準偏差, 標準誤差 信頼度, 危険率, t検定, カイ二乗検定	竹原 順次

**【科目名】 衛生行政****【年次・開講期】** 3年次 前期**【時間】** 16時間**【単位】** 1単位**【担当講師】** 札幌歯科学院専門学校  
総務部長 濱 秀樹 歯科医師実務経験あり**【授業概要】** 歯科衛生士としての身分や業務について、さらに関連のある歯科医師や歯科技工士等と共同して歯科保健医療の普及と向上のために必要な知識を習得する。**【到達目標】**

- ・歯科衛生士資格の成り立ちと目的を説明できる。
- ・歯科衛生士法・歯科医師法・歯科技工士法に規定されている義務・責務を説明できる。
- ・歯科口腔保健推進に関する法律が説明できる。
- ・医療法の成り立ちと目的と遵守事項について説明できる。
- ・その他関係法規を列挙し、理解できる。
- ・社会保障制度についての種類の理解ができる。

**【教科書】** 最新歯科衛生士教本「歯科衛生士と法律・制度」第3版  
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版**【参考書】****【評価方法】** 定期試験(前期)100%**【授業方法】** 講義**【授業計画】**

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科衛生士と法律その1	・衛生行政の目的と組織 ・歯科衛生士法の成り立ち	濱 秀樹
2	歯科衛生士と法律その2	・歯科衛生士法 ・歯科医師法 ・歯科技工士法	濱 秀樹
3	歯科衛生士と法律その3	・歯科口腔保健推進に関する法律 ・医療法	濱 秀樹
4	医療関係職種	・医療関係職種 ・歯科医療従事者とその法律	濱 秀樹
5	その他の関係法規	・薬事に関する法規 ・地域保健に関連する法規 ・食品衛生法や感染症の概要	濱 秀樹
6	社会保障	・社会保障の種類、特徴、法律 ・介護保険制度の仕組み ・歯科衛生士に関係する社会福祉	濱 秀樹
7	医療の動向 その他	・医療の動向 ・国民の受療状況 ・歯科医療従事者数の推移 ・国民医療費の範囲と動向	濱 秀樹
8	まとめと試験問題	・重点項目の復習 ・問題解説	濱 秀樹



【科目名】 **社会福祉**

【年次・開講期】 2年次 前期

【時間】 16時間

【単位】 1単位

【担当講師】 高校教諭 中村今朝良

【授業概要】 社会福祉の全体像や我が国の社会保障制度の概要の理解を通して、医療業務に従事するものとしての使命感を醸成し、医療業務を支える社会福祉の基本的理念を理解する。

- 【到達目標】
- ・社会福祉の全体像が分かる。
  - ・ソーシャルワークの概念と意義が分かる。
  - ・児童福祉の課題が分かる。
  - ・障がい者の自立と福祉の関係が分かる。
  - ・高齢者の生活課題と地域包括の仕組みが分かる。

【教科書】 「新社会福祉とは何か」第3版 大久保秀子著

【参考書】 適宜、資料を配付

【評価方法】 前期試験(レポート)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	社会福祉とは何か	・オリエンテーション(授業の進め方、評価の仕方等) ・社会福祉と社会保障 ・社会福祉の意義、概念、原理 ・社会福祉の法と行財政	中村 今朝良
2	ソーシャルワークの理解最低生活保障と生活保護制度	・ソーシャルワークの概念、変遷、意義と今後の展開 ・生活保護制度の概要と動向、課題	中村 今朝良
3	児童家庭福祉の課題	・児童の権利としての児童福祉 ・児童福祉の課題 ・児童福祉施設の状況、児童家庭福祉の相談機関	中村 今朝良
4	障がい者の自立と福祉	・障がいの理解と差別解消への歩み ・日本における障がい者の概況 ・障がい者(児)の生涯保障の理念 ・障がい者保健福祉施策への体系的展開 ・共生社会の在り方、進め方	中村 今朝良
5	高齢者の生活と福祉	・高齢社会における高齢者福祉とその理念 ・高齢者の生活課題と施策 ・高齢者介護を支える介護保険制度への展開 ・高齢者施設の変遷と課題 ・地域包括ケアシステムの展望	中村 今朝良
6	地域福祉への展開	・地域福祉の意義、組織、担い手 ・地域福祉推進の課題	中村 今朝良
7	これからの社会福祉	・参加、参画する福祉へ ・福祉が生み出す文化、文化が創る福祉 ・総合福祉へ	中村 今朝良
8	まとめ	社会福祉の重要性と医療従事者の使命 日本の社会保障制度の中の社会福祉の在り方(まとめ) 社会福祉とは何か	中村 今朝良

【科目名】 歯科衛生士概論

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 16時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校  
歯科衛生士科長 三好 弘祐 歯科医師実務経験あり  
専任教員 市川 智恵 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士業務を実践して人々の健康づくりを支援するために、保健医療人としての基本的態度を理解し、多様な科目において知識や技術を習得する態度および倫理的思考の基礎を習得する。

【到達目標】

- ・歯科衛生と健康とのかかわりを説明できる。
- ・歯科衛生士の誕生と歯科衛生業務の歴史について理解する。
- ・予防の概念を理解できる。
- ・歯科衛生業務において、歯科衛生過程を活用する意義を知ることができる。
- ・歯科衛生士法に基づく歯科衛生業務について概説できる。
- ・歯科衛生士と倫理について説明ができる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「歯科衛生士学総論」  
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	1章 歯科衛生学とは	・衛生について ・歯科衛生と健康	市川 智恵
2	2章 歯科衛生士の歴史	・歯科衛生士の歴史 ・歯科衛生業の発展 ・歯科衛生士の育成教育	市川 智恵
3	3章 歯科衛生活動のための理論	・予防の概念 ・歯科衛生の考え方～クリティカル思考～	市川 智恵
4	7章 歯科衛生士の活動と組織	・歯科衛生士の動向 ・歯科衛生活動の就業先 ・歯科衛生活動の現場	市川 智恵
5	4章 歯科衛生過程	・歯科衛生過程とは ・歯科衛生過程の利点 ・歯科衛生過程の流れ	市川 智恵
6	5章 歯科衛生士法と歯科衛生士業務	・業務独占と名称独占 ・歯科衛生士の資格と免許 ・歯科衛生士の役割	三好 弘祐
7	6章 歯科衛生士と医療倫理	・安全管理 スタンダードプリコーション ・インフォームドコンセント	三好 弘祐
8	7章 歯科衛生士の活動と組織	・歯科衛生士の組織 ・海外における歯科衛生士	三好 弘祐

【科目名】 医療倫理学

【年次・開講期】 3年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 有限会社Ai エクセレント  
代表取締役 高野 文子 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 信頼される医療人としての基本を身に付け、実践につなげる。

【到達目標】

- ・医療倫理の特徴を述べることができる。
- ・患者の権利について概説できる。
- ・インフォームド・コンセントについて説明できる。
- ・QOLとはどういうことか説明できる。
- ・歯科医療におけるQOLの向上について説明できる。
- ・歯科衛生士としての生きがいほどのようなことがあげられるか説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 「歯科医療倫理」第2版  
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)・出席率・授業態度・提出物

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	医療従事者としての心得 自立の姿勢について	なぜ、医療倫理を学ぶのか 医療従事者としての在り方 自立の姿勢を構成する2つの要素	高野 文子
2	歯科衛生士としての職業倫理	歯科衛生士としての立場と視野 倫理綱領における価値観 歯科衛生士の行動指針	高野 文子
3	医療人としての接遇・対応の 基本	医療における接遇の重要性 寄り添う力の必要性 事例検討	高野 文子
4	歯科医療現場における人の行 動	QOLの向上を目指した医療 歯科医療従事者としての心得 患者を理解するための必要なこと	高野 文子
5	医療コミュニケーション<1>	コミュニケーションの本質を理解する 承認することの大切さ 傾聴する力	高野 文子
6	医療コミュニケーション<2>	コーチングを活用した質問力 伝える力 <ワーク>保健指導のシュミレーション	高野 文子
7	報告・連絡・相談の重要性	報告・連絡・相談の基本 <ワーク>報告・連絡 メモの取り方	高野 文子
8	信頼関係を高める電話対応	電話対応の基本フロー・基本スキル 言葉遣い ロールプレイング	高野 文子

【科目名】 保存修復学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時 間】 20時間

【単 位】 1単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 歯科保存教室  
助教 星加 修平 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 保存修復は、日常の歯科診療の中で最も頻度が高く、根幹的な部分であるため、歯の硬組織疾患並ならびに、保存修復法の種類・原則・術式などについての理解を目的とする。

- 【到達目標】
- ・歯を保存する重要性を理解できる。
  - ・保存修復学で扱う疾患を理解できる。
  - ・歯の修復に用いる器材を説明できる。
  - ・コンポジットレジン修復の特徴と手順を理解できる。
  - ・グラスアイオノマーセメント修復の特徴と手順を理解できる。
  - ・間接法修復の種類を列挙できる。
  - ・保存修復における歯科衛生士の役割について理解できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法」  
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
1	保存修復学概論	・歯の保存療法の歯科における位置づけ ・歯を保存する目的・種類・手順・適応および禁忌	星加 修平
2	硬組織疾患(う蝕を除く)	・歯の外傷と損傷	星加 修平
3	硬組織疾患(う蝕)	・う蝕の病院と病態 ・エナメル質う蝕 ・象牙質う蝕 ・う蝕の分類・好発部位	星加 修平
4	窩洞	・窩洞の分類(ブラックの分類など) ・窩洞形態の5条件 ・接着性窩洞と非接着性窩洞	星加 修平
5	診査および切削器具・器械	・保存修復治療の一連の流れ ・回転切削器具 ・前準備(防湿・歯間分離・歯肉圧排・隔壁法)	星加 修平
6	コンポジットレジン修復	・コンポジットレジンの組成・種類・適応 ・接着システム ・コンポジットレジン修復の手順	星加 修平

回	授業項目	授業内容	
7	ガラスアイオノマー セメント修復	・ガラスアイオノマーセメント修復の手順	星加 修平
8	歯科用セメント	・暫間修復(仮封・仮着)用セメント ・合着用セメント	星加 修平
9	間接法修復	・窩洞形成概略 ・印象採得 ・咬合採得 ・模型調整 ・ワックスアップ ・埋没・鑄造・合着	星加 修平
10	その他の修復法	・ラミネートベニア修復 ・CAD/CAMシステム ・歯の漂白法	星加 修平

【科目名】 歯内療法学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部 生体機能・病態学系 高齢者・有病者歯科学分野  
講師 塚越 慎 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯内療法学は、歯の内部にある歯髄ならびに歯髄疾患に継発する根尖部歯周組織の疾患の病態、診断および治療法を理解し修得する。

【到達目標】

- ・歯内療法学の目的が説明できる。
- ・歯髄疾患の分類と症状の列挙ができる。
- ・歯髄保存療法の概略と使用薬剤の説明ができる。
- ・歯髄除去療法の種類と適応症の理解ができる。
- ・根管治療の概念を理解する。
- ・根管充填法の目的が説明できる。
- ・根管充填法の種類と術式、特徴が理解できる。
- ・外科的歯内療法の種類と目的が理解できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法」  
全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯内療法の概要	・歯内療法学の意義と内容 ・歯内療法学の目的 ・歯髄炎の原因	塚越 慎
2	歯髄および根尖歯周組織疾患治療基本的考え方1	・歯髄および根尖歯周組織の構造と機能と特徴 ・歯髄および根尖歯周組織の疾患の病態と診断 ・歯髄疾患とその分類、根尖歯周疾患とその分類	塚越 慎
3	歯髄および根尖歯周組織疾患治療基本的考え方2	・歯髄疾患および根尖歯周疾患の治療の基本的考え方 ・歯科衛生士と歯内療法	塚越 慎
4	歯髄の保存療法1	・歯髄鎮静療法 ・歯髄鎮静療消炎薬	塚越 慎
5	歯髄の保存療法2	・間接歯髄覆髄法 ・直接歯髄覆髄法 ・暫間的間接覆髄法	塚越 慎
6	歯髄の除去療法1	・生活断髄法 ・生活断髄法の適応症 ・生活断髄法の術式・使用器具	塚越 慎

回	授業項目	授業内容	担当者
7	歯髄の除去療法2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻酔抜髄法</li> <li>・麻酔抜髄法の適応症</li> <li>・麻酔抜髄法の術式・使用器具</li> </ul>	塚越 慎
8	感染根管治療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根尖歯周疾患の治療の術式および使用器具</li> </ul>	塚越 慎
9	根管充填	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根管充填の考え方</li> <li>・根管充填の時期の判定</li> <li>・根管充填の術式および使用する器具</li> </ul>	塚越 慎
10	その他の治療法 歯内療法における偶発症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外科的歯内療法</li> </ul>	塚越 慎

【科目名】 歯周治療学

【年次・開講期】 2年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野  
名誉教授 川浪 雅光 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯周治療学の基礎知識と臨床、歯科衛生業務について学ぶ。

【到達目標】

- ・正常な歯周組織の構造、各部の名称、組織学と機能について理解できる。
- ・歯肉炎、歯周炎との違いと初発因子修飾因子について理解できる。
- ・歯周予防法と治療の進め方について基本的な考え方を説明することができる。
- ・歯周病の診査診断について判定方法の理解ができる。
- ・歯周基本治療の目的、内容、治療方法と歯科衛生士の役割の理解ができる。
- ・歯周外科治療の目的と分類、治療用器材器具の名称、用途の説明ができる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 「歯周病学」第2版  
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯周治療とは 歯周組織の構造と機能	・歯周疾患の現状と治療、歴史、歯科衛生業務と歯周治療 ・正常な歯周組織の構造、機能	川浪雅光
2	歯周疾患の分類 歯周疾患の病態、原因 歯周医学	・歯肉炎、歯周炎、初発因子、修飾因子(全身、局所) ・歯周病と全身の疾患とのかかわり	川浪雅光
3	歯周治療の進め方	・歯周疾患の予防と治療の基本 ・歯周治療の進め方	川浪雅光
4	歯周疾患の診査	・一般診査、歯周組織検査、咬合の診査 ・エックス線写真検査、口腔内写真検査	川浪雅光
5	歯周基本治療1 歯周基本治療2	基本治療の目的 モチベーション、患者教育	川浪雅光
6	歯周基本治療3 歯周基本治療4	・口腔清掃指導(ブラッシング) ・口腔清掃指導(補助的清掃、マウスリンス)	川浪雅光
7	歯周基本治療5 歯周基本治療6	・スケーリング・ルートプレーニング ・歯周ポケット搔爬	川浪雅光
8	歯周外科治療1 歯周外科治療2	・歯周外科手術の目的、分類 ・歯周外科手術後の治癒、用いる器材	川浪雅光
9	歯周外科治療3 歯周治療としての リハビリテーション	・根分岐部病変の治療、歯周・歯内病変の治療 ・咬合調整、矯正治療、固定法	川浪雅光
10	メンテナンス 歯周病学まとめ	・サポーターセラピーの内容、リコール間隔 ・歯周治療の進め方の具体例	川浪雅光



【科目名】 歯科補綴学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 30時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学病院歯科診療センター 義歯補綴科  
助教 小松原 浩実 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯の崩壊と損失の原因とこれに起因あるいは続発する顎口腔領域の障害を学び、歯科補綴治療の果たす役割について、障害の回復と予防という2つの側面から理解する。診療補助歯科補綴治療の種類、特徴、および適応と、歯科補綴治療全体の流れについて理解し、および患者指導を行うための学理を学ぶ。歯科補綴治療における歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の連携を学び、歯科衛生士の果たすべき役割とその重要性について理解する。

【到達目標】

- ・歯科補綴学についてその意義と定義について理解できる。
- ・歯の欠損に伴う口腔内の変化と問題について説明できる。
- ・補綴装置の種類と適応について理解できる。
- ・補綴歯科治療における診査診断について説明ができる。
- ・クラウン、ブリッジ、有床義歯治療の実際について流れを理解できる。
- ・インプラント治療の実際を理解できる。
- ・補綴治療に用いられる器材と用途の理解ができる。
- ・補綴歯科治療における歯科技工の流れを説明できる。
- ・補綴歯科臨床における歯科衛生士の役割を理解できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴」第2版  
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科補綴治療とは	・歯科補綴学治療の定義、意義、目的、特徴および分類 ・歯科補綴学治療において歯科衛生士が果たすべき役割	小松原 浩実
2	補綴歯科治療の基礎知識	・歯列と咬合に関する基本的用語 ・顎口腔系の機能 ・咬合様式と下顎運動	小松原 浩実
3	歯の欠損に伴う障害と補綴歯科治療	・歯の欠損に伴う口腔内の変化と諸問題 ・補綴歯科治療に伴う合併症 ・顎関節症	小松原 浩実
4	補綴装置の種類と構造1	・クラウン・ブリッジの分類と構造	小松原 浩実
5	補綴装置の種類と構造2	・全部床義歯と局部床義歯の分類と構造	小松原 浩実
6	補綴装置の種類と構造3	・部分床義歯の構成要素	小松原 浩実

回	授業項目	授業内容	担当者
7	補綴歯科治療における検査・診断  クラウン治療の実際	・医療面接 ・口腔内の検査 ・スタディモデルによる検査 ・咬合検査と顎関節の検査 ・クラウンの治療の流れ	小松原 浩実
8	ブリッジ治療の実際	・ブリッジ治療の流れ	小松原 浩実
9	有床義歯治療の実際1	・全部床義歯治療の流れ	小松原 浩実
10	有床義歯治療の実際2 インプラント治療の実際	・部分床義歯治療の流れ ・インプラントとは ・インプラント治療の流れ ・インプラントのメンテナンス	小松原 浩実
11	補綴治療に用いられる器材1	・切削・研磨用器材	小松原 浩実
12	補綴治療に用いられる器材2  補綴歯科医療における歯科技工1	・印象採得用器材 ・咬合採得用器材 ・人工歯 ・クラウン・ブリッジの製作 ・有床義歯の製作	小松原 浩実
13	補綴歯科医療における歯科技工2  補綴歯科臨床における歯科衛生士の役割1	・補綴装置の補修 ・検査・診断時の業務  ・クラウン・ブリッジ治療における業務(1)	小松原 浩実
14	補綴歯科臨床における歯科衛生士の役割2	・クラウン・ブリッジ治療における業務(2) ・有床義歯治療における業務	小松原 浩実
15	補綴歯科臨床における歯科衛生士の役割3	・患者指導の要点	小松原 浩実

【科目名】 口腔外科学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 30時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学病院歯科診療センター 高次口腔医療センター  
准教授 石川 誠 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 口腔外科領域で扱われる疾患の病態と治療法を理解し、診療の補助、手術器材の滅菌消毒、手指の消毒法について習熟する。

【到達目標】

- ・口腔領域の先天異常と発育異常について、原因、症状、治療法を説明できる。
- ・口腔領域の損傷、機能障害について理解できる。
- ・口腔粘膜疾患について原因、症状、治療法の理解できる。
- ・顎・口腔領域の炎症と嚢胞について理解できる。
- ・顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患の分類、原因、症状、治療法が説明できる。
- ・唾液腺疾患、口腔領域の神経疾患について原因、症状、治療法が説明できる。
- ・口腔外科における滅菌・消毒の意義が理解できる。
- ・口腔外科小手術の内容、使用器材と診療補助についての理解ができる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」  
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	顎・口腔領域の先天異常 発育異常-1	・歯の発育異常 ・口腔軟組織の先天異常と発育異常	石川 誠
2	顎・口腔領域の先天異常 発育異常-2	・口唇裂・口蓋裂 ・顎の先天異常と発育異常	石川 誠
3	顎・口腔領域の損傷および 機能障害	・軟組織の損傷 ・歯および歯槽の外傷・顎骨骨折	石川 誠
4	口腔粘膜の病変-1	・水泡形成を主徴とする疾患 ・紅斑およびびらんを主徴とする疾患 ・潰瘍を主徴とする疾患 ・白斑を主徴とする疾患 ・色素沈着を主徴とする疾患	石川 誠
5	口腔粘膜の病変-2	・粘膜の萎縮を主徴とする疾患 ・口腔の乾燥を主徴とする疾患 ・粘膜の出血および貧血を主徴とする疾患 ・その他の異常および疾患	石川 誠
6	顎・口腔領域の化膿性 疾患	・歯周組織の炎症 ・顎骨と顎骨周囲組織の炎症	石川 誠
7	顎・口腔領域の嚢胞性 疾患	・顎骨に発生する嚢胞 軟組織に発生する嚢胞	石川 誠

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
8	顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯源性腫瘍と非歯源性腫瘍</li> <li>・悪性腫瘍</li> <li>・前癌病変</li> <li>・腫瘍類似疾患</li> </ul>	石川 誠
9	唾液腺疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>・炎症性唾液腺疾患</li> <li>・唾石症</li> <li>・唾液分泌異常</li> <li>・唾液腺腫瘍</li> </ul>	石川 誠
10	口腔領域の神経疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顎口腔の知覚神経と運動神経</li> <li>・神経痛と神経麻痺</li> <li>・神経痙攣</li> </ul>	石川 誠
11	滅菌と消毒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔外科における滅菌と消毒の意義</li> <li>・手術器材の滅菌と消毒</li> <li>・手指の消毒</li> <li>・手術野の消毒</li> </ul>	石川 誠
12	創傷の処置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創傷の治癒過程</li> <li>・手術の基本手技</li> </ul>	石川 誠
13	口腔外科小手術-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消炎手術</li> <li>・抜歯術</li> </ul>	石川 誠
14	口腔外科小手術-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嚢胞摘出術</li> <li>・歯根端切除術</li> <li>・良性腫瘍摘出術</li> <li>・歯槽骨整形術</li> <li>・小帯伸展術</li> </ul>	石川 誠
15	口腔外科小手術-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外傷の処置</li> <li>・口腔インプラント術</li> <li>・まとめ</li> </ul>	石川 誠

【科目名】 歯科麻酔学

【年次・開講期】 2年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔病態学分野 歯科麻酔学教室  
教授 藤澤 俊明 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士として必要とされる歯科麻酔領域の事項を中心に、除痛法を初めとする各種の歯科周術期管理について習熟し、加えて歯科診療時における全身状態の把握法、さらに緊急時の対処法について理解を深める

【到達目標】

- ・局所麻酔方法の種類と特徴を説明できる。
- ・歯科局所麻酔薬の種類と特徴を説明できる。
- ・バイタルサイン、経皮的動脈血酸素飽和度を説明できる。
- ・精神鎮静法の適応症と種類を説明できる。
- ・全身麻酔法の適応症と種類について説明できる。
- ・偶発症発症時の対応(BLS, 救急薬品、酸素吸入等)が説明できる。
- ・全身疾患を有する歯科患者への対処法について説明できる。
- ・歯科治療時および偶発症発症時のモニタリングを説明できる。
- ・モニターの基本的取り扱いができる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」  
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義・演習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科局所麻酔法	・局所麻酔方法の種類と特徴、歯科局所麻酔薬の種類と特徴を理解する。 ・機材の管理と取扱いの概略を把握する。	藤澤俊明
2	全身状態の把握： バイタルサインの意味と見方	・全身状態の把握法、特にバイタルサインについて理解する。 ・歯科衛生士として行うべき役割を把握する。	藤澤俊明
3	局所麻酔と全身的偶発症	・局所麻酔時に遭遇する全身的偶発症について理解する。	藤澤俊明
4	精神鎮静法	・精神鎮静法について概略する。 ・業務内容を把握し、使用機材について理解する。	藤澤俊明
5	全身麻酔法	・全身麻酔法について概略できる。	藤澤俊明
6	緊急時の対処(BLS中心)	・偶発症発症時の対応(BLS, 救急薬品、酸素吸入等)を理解する。 ・歯科衛生士の担う役割の理解する	藤澤俊明
7	有病者への対応(1)	・全身疾患を有する歯科患者への対処法について説明できる。 (高血圧症、狭心症を例に)	藤澤俊明
8	有病者への対応(2)	・全身疾患を有する歯科患者への対処法について説明できる。 (脳血管障害、誤嚥を例に)	藤澤俊明
9	歯科におけるモニター機器取 り扱いの実習	・歯科治療時および偶発症発症時のモニタリングを説明でき、モニターの基本的取り扱い方法を習得する。	藤澤俊明

【科目名】 小児歯科学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 30時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部口腔構造・機能発育学系 小児歯科学分野  
任期制助手 蓑輪 映里佳 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 小児の口腔領域の健康を維持・増進させるための健康管理、健全な顎口腔機能を育成するための理論と方法と歯科衛生士としての役割を学ぶ。

【到達目標】

- ・小児歯科の目的を説明することができる。
- ・小児の発育段階とその時期の口腔の変化を説明できる。
- ・乳歯と幼若永久歯の乳歯と幼若永久歯の形態的特徴ならびにう蝕の特徴を説明できる。
- ・補綴歯科治療における診査診断について説明ができる。
- ・成人歯科と小児歯科の違いから治療時の小児への対応の理解ができる。
- ・小児の対応法の種類と要点について説明できる。
- ・小児歯科診療における診療体系と流れを理解できる。
- ・小児歯科におけるう蝕予防について理解ができる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「小児歯科」  
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	小児歯科概論	ガイダンス・小児歯科学の意義・目的 小児歯科診療の流れと特徴 小児歯科診療と歯科衛生士	蓑輪 映里佳
2	心身の発達1	小児期の身体の発育	蓑輪 映里佳
3	心身の発達2	小児の精神発達	蓑輪 映里佳
4	頭部・顎顔面の発育	小児の顎・顔面・頭蓋の成長発育	蓑輪 映里佳
5	歯の発育	一般的な歯の発育 乳歯・幼若永久歯の特徴	蓑輪 映里佳
6	歯列および咬合の発育	成長発育段階・生理的歯間空隙 乳歯、混合歯列の特徴 ターミナルプレーン・第一大臼歯の萌出	蓑輪 映里佳
7	小児患者の対応法	小児の情緒発達 行動調整	蓑輪 映里佳
8	小児患者の診療方針	治療計画の立案 母親教室の必要性 リコールシステムの意義	蓑輪 映里佳

回	授業項目	授業内容	担当者
9	歯科診療における 診療補助Ⅰ	フォーハンデッドデンティストリーの基本とチェアポジション 小児歯科での麻酔法 小児歯科でのラバーダム防湿法	蓑輪 映里佳
10	歯科診療における 診療補助Ⅱ	小児の歯冠修復時の診療補助	蓑輪 映里佳
11	歯科診療における 診療補助Ⅲ	小児の歯内療法時での診療補助	蓑輪 映里佳
12	歯科診療における 診療補助Ⅳ	障害児の歯科治療における健常児との違い 障害児の歯科治療に用いる器材と用途	蓑輪 映里佳
13	歯科診療における 診療補助Ⅴ	咬合誘導の補助 保隙装置の目的と種類	蓑輪 映里佳
14	小児におけるう蝕予防Ⅰ	乳歯齲蝕の罹患状況・年次的推移・地域差・環境差 乳歯齲蝕の特徴と好発部位	蓑輪 映里佳
15	小児におけるう蝕予防Ⅱ	乳歯齲蝕の原因・プラークコントロール・フッ化物の応用 小窩裂溝填塞法の有効性 食生活指導の概略	蓑輪 映里佳

【科目名】 歯科矯正学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 30時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究員 口腔機能学分野  
歯科医師 保浦 七愛 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科矯正学の意義と定義を正しく理解し、頭蓋顎顔面や歯列の成長発育、咬合に関する基礎的な知識を身につける。  
不正咬合の定義、原因、さらには予防法に関する専門的な知識を身につける。  
歯科矯正治療における検査、診断、治療に際しての流れと他科の関連も踏まえて理解し、同時に歯科衛生士としての役割を積極的に理解する。

【到達目標】

- ・顔面および歯・歯列の成長発育とその評価を説明できる。
- ・成長発育に伴う正常咬合を説明できる。
- ・不正咬合による原因と種類を列挙できる。
- ・不正咬合による障害と矯正治療の種類が分かる。
- ・矯正力と歯の移動時の生体反応を説明できる。
- ・矯正装置の種類と構造および機能を説明できる。
- ・矯正治療に用いる器材とその取扱いを説明できる。
- ・矯正治療前、治療中および保定期間における口腔保健管理法を説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「咀嚼障害・咬合異常1 歯科矯正」  
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科矯正学概論	・歯科矯正治療の変遷、定義、目的およびその必要性について	保浦 七愛
2	成長・発育	・身体・頭蓋・歯・歯列の成長発育について	保浦 七愛
3	咬合 1	・咬合に関する概論および正常咬合について	保浦 七愛
4	咬合 2	・不正咬合の分類、頻度、原因、予防について	保浦 七愛
5	矯正歯科診断	・矯正歯科治療における検査、評価、分析方法について	保浦 七愛
6	矯正歯科治療と力 1	・矯正力、歯の移動と組織反応について	保浦 七愛
7	矯正歯科治療と力 2	・歯の移動様式、保定について	保浦 七愛
8	矯正装置 1	・可撤式・固定式・機能的装置について	保浦 七愛
9	矯正装置 2	・拡大装置・顎外固定装置・習癖除去装置・保定装置について	保浦 七愛



回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
10	矯正歯科治療の実際1	・ I・II・III級、過蓋咬合、開咬、成人矯正の治療について	保浦 七愛
11	矯正歯科治療の実際2	・ 顎顔面の形態異常、歯数異常の治療 ・ 治療時のトラブル対応、健康保険適応の矯正治療について	保浦 七愛
12	矯正歯科治療における 歯科衛生士の役割1	・ 矯正治療診断にかかわる業務 ・ 矯正歯科診療時の業務について	保浦 七愛
13	矯正歯科治療における 歯科衛生士の役割2	・ 矯正歯科患者と口腔保健管理、口腔筋機能療法(MFT) ・ 器材、資料、文章の管理について	保浦 七愛
14	矯正学まとめ 1	・ まとめの講義内容の復習と問題演習	保浦 七愛
15	矯正学まとめ 2	・ まとめの講義内容の復習と問題演習	保浦 七愛

【科目名】 歯科予防処置Ⅰ

【年次・開講期】 1年次 前期・後期

【時間】 130時間

【単位】 4単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科  
専任教員 土門 京子 歯科衛生士実務経験あり  
専任教員 溝口 範子 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技能、態度を修得し、その概要について学ぶ。

【到達目標】

- ・健康な歯の構造や歯周組織などの基礎知識を学び、予防的歯石除去に使用する器具の名称、構造について基本的取り扱い方法を理解できる。
- ・術者、患者のポジションを理解し、部位に合わせ設定できる。
- ・模型上で正しいスケーリングができる。
- ・シャープニングの目的や砥石の種類を把握し、スケーラーのシャープニング方法を身につける。
- ・プロービングの目的、種類、測定方法、測定結果の記入方法を理解し、プロービング値を正確に読み取ることができる。
- ・歯科治療における偶発事故の原因、予防、対策、対処方法を理解できる。
- ・歯面研磨の目的、使用器材の用途、取り扱い方法を理解し、正しい操作ができる。
- ・歯面清掃器の目的、使用器材の用途、取り扱い方法を理解し、正しい操作ができる。
- ・超音波スケーラー、エアスケーラーの特徴を理解し、正しい角度とストロークで操作できる。
- ・模型上での基礎実習を活かし、実際の口腔内で予防処置を行うことができる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版  
全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社

【参考書】 最新歯科衛生士教本「歯周病学」第2版 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「保健生態学」第2版 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科予防処置論の概要 予防的歯石除去の 概要Ⅰ	・歯科予防処置の定義 ・マネキンの取り扱い ・マキシラアングル、ヘッドローテーション、術者ポジション ・術者の姿勢とマネキンの高さ	土門 京子
2	予防的歯石除去の 概要Ⅱ	口腔の基礎知識Ⅰ ・正常な口腔 ・歯周組織	土門 京子
3	予防的歯石除去の 概要Ⅲ	口腔の基礎知識Ⅱ ・歯冠と歯根の形態	土門 京子
4	予防的歯石除去の 概要Ⅳ	口腔の基礎知識Ⅲ ・口腔の機能	土門 京子

回	授業項目	授業内容	担当者
5	齲蝕と歯周病の基礎知識概要Ⅳ	口腔内の付着物・沈着物Ⅰ ・ペリクル ・マテリアアルバ ・食物残渣 ・プラーク	土門 京子
6	齲蝕と歯周病の基礎知識Ⅱ	口腔内の付着物・沈着物Ⅱ ・歯石 ・色素沈着	土門 京子
7	齲蝕と歯周病の基礎知識Ⅲ	齲蝕 ・齲蝕とは ・齲蝕の分類 ・齲蝕の原因	土門 京子
8	齲蝕と歯周の基礎知識Ⅳ	歯周病 ・歯周病とは ・歯周病の分類 ・歯肉炎と歯周炎の臨床的特徴 ・歯肉炎と歯周炎の進行プロセス ・歯周病の起炎性因子	土門 京子
9	予防的歯石除去の基礎知識	・予防的歯石除去と歯科診療の歯石除去 ・歯肉縁上プラークと歯肉縁下プラーク ・歯肉縁上歯石と歯肉縁下歯石 ・歯石除去の手順	土門 京子
10	手用スクレーラーの基礎知識	・歯石除去に用いられる器材 ・歯周診査用器材 ・手用スクレーラー(構成・種類) ・使用目的、刃部・頸部の特徴	土門 京子
11	手用スクレーラーによる基礎実習Ⅰ	・執筆状変法把持法、4指固定	土門 京子
12	手用スクレーラーによる基礎実習Ⅱ	・前腕回転運動、手根関節運動、手指屈伸運動 ・探針操作	土門 京子
13	手用スクレーラーによる基礎実習Ⅲ	・シッケルタイプスクレーラー操作 ・ミラー操作	土門 京子
14	マネキン実習の基礎	・マネキンの取り扱い ・マキシラアングル、ヘッドローテーション・術者ポジション	土門 京子
15	シッケルタイプスクレーラー部位別Ⅰ	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	土門 京子
16	シッケルタイプスクレーラー部位別Ⅱ	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	土門 京子
17	シッケルタイプスクレーラー部位別Ⅲ	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	土門 京子
18	シッケルタイプスクレーラー部位別Ⅳ	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	土門 京子
19	シッケルタイプスクレーラー部位別Ⅴ	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	土門 京子

回	授業項目	授業内容	担当者
20	シックルタイプ スケーラー部位別Ⅵ	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	土門 京子
21	シックルタイプ スケーラー部位別Ⅶ	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	土門 京子
22	シックルタイプ スケーラー部位別Ⅷ	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	土門 京子
23	シックルタイプ スケーラー部位別Ⅸ	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	土門 京子
24	シャープニング実習Ⅰ	・目的、使用器具、器材、方法について (シックルタイプスケーラー)	土門 京子
25	ブローピング	・目的、時期、測定法、測定方法、注意事項 ・アタッチメントレベル ・付着歯肉幅の測定	土門 京子
26	シックルタイプ スケーラー実技試験Ⅰ	・マネキンを使用し与えられた部位を四原則に従い正確に操作する	土門 京子
27	シックルタイプ スケーラー実技試験Ⅱ	・マネキンを使用し与えられた部位を四原則に従い正確に操作する	土門 京子
28	シックルタイプ スケーラー実技試験Ⅲ	・マネキンを使用し与えられた部位を四原則に従い正確に操作する	土門 京子
29	シックルタイプ スケーラー実技試験Ⅳ	・マネキンを使用し与えられた部位を四原則に従い正確に操作する	土門 京子
30	シックルタイプ スケーラー実技試験Ⅴ	・マネキンを使用し与えられた部位を四原則に従い正確に操作する	土門 京子
31	シックルタイプ スケーラー実技試験Ⅵ	・マネキンを使用し与えられた部位を四原則に従い正確に操作する	土門 京子
32	キュレットタイプ スケーラー部位別Ⅰ	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	土門 京子
33	キュレットタイプ スケーラー部位別Ⅱ	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	土門 京子
34	キュレットタイプ スケーラー部位別Ⅲ	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	土門 京子
35	キュレットタイプ スケーラー部位別Ⅳ	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	土門 京子
36	キュレットタイプ スケーラー部位別Ⅴ	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	土門 京子
37	キュレットタイプ スケーラー部位別Ⅵ	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	土門 京子

回	授業項目	授業内容	担当者
38	キュレットタイプ スケーラー部位別Ⅶ	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	土門 京子
39	キュレットタイプ スケーラー部位別Ⅷ	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部 ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	土門 京子
40	シャープニング実習Ⅱ	・目的、使用器具、器材、方法について (キュレットタイプスケーラー)	土門 京子
41	キュレットタイプ スケーラー実技試験Ⅰ	・マネキンを使用し与えられた部位を正確に操作する	土門 京子 溝口 範子
42	キュレットタイプ スケーラー実技試験Ⅱ	・マネキンを使用し与えられた部位を正確に操作する	土門 京子 溝口 範子
43	キュレットタイプ スケーラー実技試験Ⅲ	・マネキンを使用し与えられた部位を正確に操作する	土門 京子 溝口 範子
44	キュレットタイプ スケーラー実技試験Ⅳ	・マネキンを使用し与えられた部位を正確に操作する	土門 京子 溝口 範子
45	キュレットタイプ スケーラー実技試験Ⅴ	・マネキンを使用し与えられた部位を正確に操作する	土門 京子 溝口 範子
46	キュレットタイプ スケーラー実技試験Ⅵ	・マネキンを使用し与えられた部位を正確に操作する	土門 京子 溝口 範子
47	歯面研磨Ⅰ	・目的、使用器材、使用方法 ・PMTCについて ・マネキン実習	土門 京子
48	歯面研磨Ⅱ	・マネキン実習	土門 京子
49	感染予防	・偶発事故と予防・対策について	土門 京子
50	相互実習事前練習Ⅰ	・口腔内診査の方法と歯式の記入方法	土門 京子
51	相互実習事前練習Ⅱ	・マネキンにて口腔内診査、プロービング、歯面研磨	土門 京子
52	相互実習Ⅰ	・口腔内診査、プロービング、歯面研磨	土門 京子
53	相互実習Ⅱ	・口腔内診査、プロービング、歯面研磨	土門 京子
54	相互実習Ⅲ	・口腔内診査、プロービング、歯面研磨	土門 京子
55	相互実習Ⅳ	・口腔内診査、プロービング、歯面研磨	土門 京子
56	齲蝕予防処置の 基礎知識	・フッ化物局所塗布、フッ化ジアンミン銀、小窩裂溝填塞の作用 機序、応用時期、注意事項について	土門 京子
57	歯面清掃器Ⅰ	・エアフローの使用目的、使用方法	土門 京子
58	歯面清掃器Ⅱ	・マネキンを使用して部位別操作を行う	土門 京子
59	超音波スケーラー、 エアスケーラー	・利点、欠点、適応症、禁忌症 ・使用目的 ・ユニット内蔵と外付けの取り扱い ・マネキン実習	土門 京子
60	相互実習事前練習Ⅲ	・スケーリング(超音波スケーラー、手用スケーラー) ・歯面研磨	土門 京子
61	相互実習Ⅴ	・スケーリング(超音波スケーラー、手用スケーラー) ・歯面研磨	土門 京子
62	相互実習Ⅵ	・スケーリング(超音波スケーラー、手用スケーラー) ・歯面研磨	土門 京子

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
63	相互実習Ⅶ	・スケーリング(超音波スケーラー、手用スケーラー) ・歯面研磨	土門 京子
64	相互実習Ⅷ	・スケーリング(超音波スケーラー、手用スケーラー) ・歯面研磨	土門 京子
65	まとめ・試験対策	・定期試験範囲を確認し、要点を整理する	土門 京子

【科目名】 歯科予防処置Ⅱ

【年次・開講期】 2年次 前期・後期

【時間】 44時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科  
専任教員 溝口 範子 歯科衛生士実務経験あり  
専任教員 飯塚 貴子 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技能、態度を修得し、その概要について学ぶ。

【到達目標】

- ・歯周病と生活習慣の関連を説明できる。
- ・歯周病に関連する指標を説明できる。
- ・歯・歯肉・口腔の検査ができる。
- ・診査の結果を説明できる。
- ・PMTCの目的、使用器材の用途、取り扱い方法を理解し、正しい操作ができる。
- ・超音波スケーラー、エアスケーラーの特徴を理解し、正しい角度とストロークで操作できる。

・模型上での基礎実習を活かし、実際の口腔内で予防処置を行うことができる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版  
全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「歯周病学」第2版 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科衛生介入のための知識整理	・歯周組織の構造と機能 ・歯周病検査について ・アタッチメントレベル	溝口 範子
2	歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理	・各種プロービング ・アタッチメントレベルの求め方 ・根分岐部病変におけるプロービング	溝口 範子
3	歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理	・歯周基本治療におけるスケーリング・ルートプレーニング1	溝口 範子
4	歯科衛生介入のための知識整理	・歯周基本治療におけるスケーリング・ルートプレーニング2	溝口 範子
5	歯科衛生介入	・PMTC実習(マネキン、相互実習)	溝口 範子
6	歯科衛生介入	・PMTC実習(マネキン、相互実習)	溝口 範子
7	歯科衛生介入	・エアスケーラー・超音波スケーラー取り扱い (マネキン、相互実習)	溝口 範子
8 ・ 9	歯科衛生介入	・外来実習予備 相互実習1	溝口 範子 飯塚 貴子
10 ・ 11	歯科衛生介入	・外来実習予備 相互実習2	溝口 範子 飯塚 貴子

【科目名】 歯科予防処置Ⅲ

【年次・開講期】 3年次 前期・後期

【時間】 44時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科  
専任教員 飯塚 貴子 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技能、態度を修得し、その概要について学ぶ。

【到達目標】

- ・対象者の歯周病のリスク評価を説明できる。
- ・歯・歯周組織の審査結果を説明できる。
- ・SPTの目的を説明できる。
- ・SPTの処置内容を説明できる。
- ・SPT実施時の注意点を説明できる。
- ・歯周病におけるメンテナンスの目的を説明できる。
- ・メンテナンス時の評価項目と方法、処置を説明できる。
- ・歯周病のリスクとメンテナンスの必要性を説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版  
全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「歯周病学」第2版 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科衛生介入のための知識整理	・歯周組織の構造と機能 ・歯周病の分類と原因	飯塚 貴子
2	歯科衛生介入のための知識整理	・歯周治療の進め方 ・市種苗の検査 ・歯周基本治療	飯塚 貴子
3	歯周外科治療と歯科衛生士の役割	・歯周外科治療について	飯塚 貴子
4	歯科衛生介入のための知識整理	・歯周治療としての口腔機能回復 ・メンテナンス	飯塚 貴子
5	歯科衛生介入のための知識整理	・歯周治療における歯科衛生士の役割	飯塚 貴子
6	歯科衛生介入のための知識整理	・SRP前の観察、SRP時の注意事項 ・SRP後の評価と処置	飯塚 貴子
7	歯科衛生介入のための知識整理	・メンテナンス、SRP	飯塚 貴子
8 ・ 9	歯科衛生介入のための知識整理	歯科予防処置まとめ1	飯塚 貴子
10 ・ 11	歯科衛生介入のための知識整理	歯科予防処置まとめ2	飯塚 貴子



【科目名】 齲蝕歯科予防処置Ⅰ

【年次・開講期】 2年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野  
助教 竹原 順次 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科予防処置は歯科衛生士の大切な業務の1つである。  
ここでは特に齲蝕予防処置に必要な専門的な知識について学び、理解する。

【到達目標】

- ・う蝕予防処置に関連する生活習慣の把握方法と項目を説明できる。
- ・う蝕と全身疾患の関連を説明できる。
- ・う蝕予防処置の臨床的効果、作用機序、安全性、および便宜性を説明できる。
- ・う蝕リスク判断のために行う、う蝕活動性試験の目的と種類を説明できる。

【教科書】 「歯科衛生士のための齲蝕予防処置法」  
全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	I 総説編 第1章 齲蝕予防処置法 序説	・齲蝕予防処置とは ・予防の3相5段階	竹原 順次
2	第2章 齲蝕の知識	・口腔の基礎知識 ・齲蝕の原因	竹原 順次
3	第2章 齲蝕の知識	・プラークと齲蝕 ・代用甘味料と齲蝕 ・齲蝕の早期(初期)診断の意義	竹原 順次
4	第3章 歯および唾液と フッ化物応用の知識	・歯およびエナメル質表層の知識 ・唾液の知識	竹原 順次
5	第3章 歯および唾液と フッ化物応用の知識	・フッ化物の応用の知識	竹原 順次
6	第4章 齲蝕活動性試験	・齲蝕活動性試験とは ・齲蝕活動性試験の種類 ・齲蝕活動性試験の有用性	竹原 順次
7	第5章 齲蝕抑制効果の 評価およびスクリーニング 手法	・齲蝕抑制効果評価法 ・スクリーニングテスト ・オッズ比と相対危険度	竹原 順次

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
8	Ⅱ 実習編 第1章 齧蝕予防処置法 のアウトライン	・齧蝕予防処置法を学ぶにあたっての基礎知識 (フッ化物局所応用)	竹原 順次
9	第1章 齧蝕予防処置法 のアウトライン	・フッ化ジアンミン銀の応用 ・小窩裂溝填塞法の応用 ・各種薬物の応用によるプラークの除去	竹原 順次
10	Ⅲ 集団応用編 第1章 齧蝕予防処置集 団応用の考え方	・公衆衛生活動としての齧蝕予防処置集団応用 ・集団応用の特徴, 場面, 計画, 準備 ・集団応用に用いられる齧蝕予防処置法	竹原 順次

**【科目名】 齶蝕歯科予防処置Ⅱ****【年次・開講期】** 3年次 前期・後期**【時間】** 40時間**【単位】** 1単位**【担当講師】** 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科  
専任教員 飯塚 貴子 歯科衛生士実務経験あり  
市川 智恵 歯科衛生士実務経験あり**【授業概要】** 齶蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために、専門的な知識・技術、および態度を習得する。**【到達目標】**

- ・う蝕活動性試験を実施できる。
- ・使用薬剤の種類と濃度、およびその取扱い方を説明できる。
- ・フッ化物歯面塗布を実施できる。
- ・フッ化物歯面塗布実施上の注意点を説明できる。
- ・フッ化物洗口法実施上の注意点を説明できる。
- ・小窩裂溝填塞材の種類と特徴を説明できる。
- ・小窩裂溝填塞実施上の留意点を説明できる。
- ・小窩裂溝填塞を実施できる。

**【教科書】** 「歯科衛生士のための齶蝕予防処置法」  
全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版  
全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社**【評価方法】** 定期試験(後期)100%**【授業方法】** 講義・実習**【授業計画】**

回	授業項目	授業内容	担当者
1	Ⅱ実習編 第1章 齶蝕予防処置法の アウトライン	・齶蝕予防処置法を学ぶにあたっての基礎知識	飯塚 貴子
2	第8章 齶蝕活動性試験	・シーエーティ21パフ ・RDテスト ・カリオスタット	飯塚 貴子
3	第6章 小窩裂溝填塞法	・小窩裂溝填塞マネキン実習	飯塚 貴子
4	第6章 小窩裂溝填塞法	・小窩裂溝填塞相互実習	飯塚 貴子
5	第3章 フッ化物溶液歯面 塗布法	・歯の脱灰観察実習 ・フッ化物溶液作製実習	市川 智恵
6	第3章 フッ化物溶液歯面 塗布法	・フッ化物歯面塗布実習	市川 智恵
7	第5章 フッ化ジアンミン銀 溶液塗布法	・フッ化ジアンミン銀塗布実習 ・染み抜き実習	市川 智恵
8	第3章 フッ化物溶液歯面 塗布法	・フッ化物洗口法の実施	市川 智恵

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
9	第10章 齶蝕予防処置法の臨床	・フッ化物ゲル応用法実習	市川 智恵
10	第9章 う蝕抑制効果判定とスクリーニング指標算出	・う蝕抑制効果判定演習 ・敏感度、特異度の算出演習	市川 智恵

【科目名】 歯科保健指導Ⅰ

【年次・開講期】 1年次 前期・後期

【時間】 90時間

【単位】 2単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科  
専任教員 土門 京子 歯科衛生士実務経験あり  
市川 智恵 歯科衛生士実務経験あり  
有限会社 Aiエクセレント  
代表取締役 高野 文子 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士業務の1つである歯科保健指導の意義や口腔の健康を保つ為の基本的な手技を理解し、全てのライフステージにおける対象者の特徴を理解し、対応する能力を身につける。マナーの本質である”敬い感謝する心”を土台に社会人としての基本を身に付ける。

【到達目標】

- ・健康、予防の概念を述べることができる。
- ・歯科保健指導に必要な行動変容要素を理解する。
- ・食生活指導の基本事項を理解する。
- ・口腔清掃に必要な器材・方法を理解する。
- ・歯科衛生過程の概要を理解する。
- ・歯科衛生アセスメントのための情報収集を理解する。
- ・ライフステージにおける一般的特徴・口腔の特徴を理解する。
- ・ライフステージにおける歯科衛生介入に必要な事項を理解する。
- ・喫煙者に対する指導の基礎知識を理解する。
- ・口腔内の軟組織、硬組織の構造と名称を一致させることができる。
- ・歯垢、歯石を観察することができる。
- ・社会人としての心構えができる。
- ・「礼」の本質について説明できる。
- ・美しい立ち居振る舞いができる。
- ・訪問の基本マナーが説明できる。
- ・対応の基本マナーが説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版  
全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版株式会社  
装道礼法マナー検定テキストセンスアップマナー初級

【参考書】 「歯ブラシ事典」 医歯薬出版株式会社  
「歯磨剤の科学」 日本歯磨工業会

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科保健指導論の概要	1. 歯科保健指導で学ぶこと 2. 健康とは 3. 予防の概念	市川 智恵

回	授業項目	授業内容	担当者
2	歯科保健指導実施のための基礎知識1	1. 行動変容要素とステップ 1) 行動変容に関連する理論 a. 自己効力感 b. 変化のステージモデル	市川 智恵
3	歯科保健指導実施のための基礎知識2	2. 食生活指導の基礎 1) 食生活および食習慣の把握 a. 近年の食生活の特徴と問題点 b. 食品と齲蝕誘発性 c. 咀嚼と食品	市川 智恵
4	歯科衛生介入のための歯科保健指導1	1. 口腔清掃方法 1) 歯ブラシ	市川 智恵
5	歯科衛生介入のための歯科保健指導2	1. 口腔清掃方法 2) 歯磨剤	市川 智恵
6	歯科衛生介入のための歯科保健指導3	1. 口腔清掃方法 3) ブラッシング方法 a. 毛先を使った方法	市川 智恵
7	歯科衛生介入のための歯科保健指導4	1. 口腔清掃方法 3) ブラッシング方法 a. 毛先を使った方法	市川 智恵
8	歯科衛生介入のための歯科保健指導5	1. 口腔清掃方法 3) ブラッシング方法 b. 脇腹を使った方法	市川 智恵
9	歯科衛生介入のための歯科保健指導6	1. 口腔清掃方法 3) ブラッシング方法 b. 脇腹を使った方法	市川 智恵
10	歯科衛生介入のための歯科保健指導7	1. 口腔清掃方法 4) 歯間部のケアについて 5) デンタルフロスの使い方	市川 智恵
11	歯科衛生介入のための歯科保健指導8	1. 口腔清掃方法 6) 歯間ブラシの使い方 7) タフトブラシの使い方	市川 智恵
12	歯科衛生介入のための歯科保健指導9	1. 口腔清掃方法 8) 舌ブラシの使い方 9) スポンジブラシの使い方	市川 智恵
13	歯科衛生過程の進め方1	1. 歯科衛生過程の概要 1) 6つの構成要素 2) 歯科衛生アセスメント 3) 歯科衛生診断	市川 智恵
14	歯科衛生過程の進め方2	1. 歯科衛生過程の概要 4) 歯科衛生計画立案 5) 歯科衛生介入 6) 歯科衛生評価	市川 智恵
15	歯科衛生アセスメントのための情報収集1	1. 患者からの情報収集 1) 主観的情報 2) 医療面接	市川 智恵
16	歯科衛生アセスメントのための情報収集2	2. 口腔内の情報収集 1) 客観的情報 2) 口腔内の観察	市川 智恵

回	授業項目	授業内容	担当者
17	歯科衛生アセスメントのための情報収集3	2. 口腔内の情報収集 3) 唾液検査	市川 智恵
18	歯科衛生アセスメントのための情報収集4	3. 分析のためのデータ 1) プラーク・歯石の指数	土門 京子
19	歯科衛生アセスメントのための情報収集5	3. 分析のためのデータ 1) プラーク・歯石の指数	土門 京子
20	歯科衛生アセスメントのための情報収集6	3. 分析のためのデータ 1) プラーク・歯石の指数 a. 口腔内観察・演習	土門 京子
21	歯科衛生アセスメントのための情報収集7	3. 分析のためのデータ 1) プラーク・歯石の指数 b. 歯垢染色・演習	土門 京子
22	歯科衛生アセスメントのための情報収集8	3. 分析のためのデータ 2) 歯周疾患の指数	土門 京子
23	歯科衛生アセスメントのための情報収集9	3. 分析のためのデータ 2) 歯周疾患の指数	土門 京子
24	歯科衛生アセスメントのための情報収集10	4. 症例検討実習 1) 歯科衛生過程の展開例	土門 京子
25	歯科衛生アセスメントのための情報収集11	4. 症例検討実習 2) グループワーク	市川 智恵
26	歯科衛生アセスメントのための情報収集12	4. 症例検討実習 2) グループワーク	市川 智恵
27	歯科衛生アセスメントのための情報収集13	4. 症例検討実習 3) グループワーク発表、まとめ	市川 智恵
28	食生活指導法1	1. 食生活指導の進め方 1) 歯科における食生活指導の重要性	市川 智恵
29	食生活指導法2	1. 食生活指導の進め方 2) 食生活把握法	市川 智恵
30	食生活指導法3	1. 食生活指導の進め方 3) シュガーコントロール	市川 智恵
31	ライフステージにおける歯科衛生介入1	1. 妊産婦期 1) 一般的・口腔の特徴 2) 食生活の特徴と栄養	土門 京子
32	ライフステージにおける歯科衛生介入2	2. 新生児期 1) 一般的・口腔の特徴 2) 食生活の特徴と栄養	土門 京子
33	ライフステージにおける歯科衛生介入3	3. 乳児期 1) 一般的・口腔の特徴	土門 京子
34	ライフステージにおける歯科衛生介入4	3. 乳児期 2) 口腔の発達	土門 京子
35	ライフステージにおける歯科衛生介入5	3. 乳児期 3) 食生活の特徴と栄養 4) 離乳食の進め方	土門 京子

回	授業項目	授業内容	担当者
36	ライフステージにおける 歯科衛生介入6	4. 幼児期 1) 一般的・口腔の特徴 2) 口腔の発達 3) 食生活の特徴と栄養	土門 京子
37	ライフステージにおける 歯科衛生介入7	5. 学齢期 1) 一般的・口腔の特徴 2) 食生活の特徴と栄養	土門 京子
38	ライフステージにおける 歯科衛生介入8	5. 学齢期 3) 学校歯科保健について	土門 京子
39	ライフステージにおける 歯科衛生介入9	6. 青年期 1) 一般的・口腔の特徴 2) 食生活の特徴と栄養	市川 智恵
40	ライフステージにおける 歯科衛生介入10	7. 成人期 1) 一般的・口腔の特徴 2) 食生活の特徴と栄養	市川 智恵
41	ライフステージにおける 歯科衛生介入11	8. 老年期 1) 一般的・口腔の特徴 2) 食生活の特徴と栄養	土門 京子
42	ライフステージにおける 歯科衛生介入12	8. 老年期 3) 義歯の取扱い・清掃 4) 高齢者疑似体験	土門 京子
43	喫煙者に対する指導	1. 喫煙状況のアセスメント 2. 喫煙と歯周疾患 3. 喫煙支援のポイント	市川 智恵
44	演習1	口腔内観察実習	土門 京子
45	演習2	術者磨き実習	市川 智恵



回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
1	礼とは マナーの必要性	・なぜマナーが必要なのか ・「礼」の本質について ・椅子の立ち方・座り方 ＜実 技＞基本動作(1)・挨拶	高野 文子
2	美しい立ち居ふるまい(1)	・基本姿勢 ・物の授受 ＜実 技＞基本動作(2)(立礼・歩行・方向転換) 職員室・教室の入退出(ドアの開閉)	高野 文子
3	上下関係における心得 美しい立ち居ふるまい(2)	・自分の立場を知る ・上座・下座・正中について ＜和室・洋室・乗り物・エレベーターの場合＞  ＜実 技＞基本動作 復習	高野 文子
4	訪問と応接の心得 美しい動作(1)	・おもてなしの心 ・訪問の基本マナー ・応対の基本マナー ・和室・洋室での心得 ＜実 技＞案内と誘導	高野 文子
5	ビジネスマナー<1>	・第一印象について ・身だしなみ ・表情・態度 ・実習先での挨拶 ＜ワーク＞表情	高野 文子
6	コミュニケーションを高める敬語	・コミュニケーションの大切さ ・敬語とは ・言葉遣いの基本 ＜ワーク＞好印象の話し方	高野 文子
7	ビジネスマナー<2> 電話応対	・電話応対のポイント ・電話応対の基本(かけ方・受け方) ・携帯電話について ＜ワーク＞学校への電話のかけ方	高野 文子
8	食事マナー	・食事マナーの基本 ・和食・洋食・パーティーでのマナー ＜実 技＞箸の使い方	高野 文子
9	文書でのおつきあい 公共でのマナー	・手紙のワンポイント ・公共でのマナー ＜ワーク＞往復はがきの書き方 封筒の書き方	高野 文子
10	包む文化 マナー検定について	・包む文化 ・金封包みについて (慶事・弔事の違い) ・お見舞いの心得 ・マナー検定について ＜実 技＞実技試験の練習	高野 文子

【科目名】 歯科保健指導Ⅱ

【年次・開講期】 2年次 前期・後期

【時間】 44時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科  
専任教員 市川 智恵 歯科衛生士実務経験あり  
専任教員 溝口 範子 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士業務の1つである歯科保健指導の意義や口腔の健康を保つ為の基本的な手技を理解し、全てのライフステージにおける対象者の特徴を理解し、対応する能力を身につける。

【到達目標】

- ・口腔の状況に応じた口腔清掃に必要な器材・方法を選択できる。
- ・歯科衛生アセスメントのための情報収集ができる。
- ・問診票を説明できる。
- ・対象者に応じたコミュニケーションがとれる。
- ・口腔機能のスクリーニングができる。
- ・幼児を対象とした健康教育ができる。
- ・小学校の口腔保健の実態が把握できる。
- ・小学校の児童を対象とした健康教育ができる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版  
全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版

【参考書】

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	ライフステージにおける歯科衛生介入	・学校歯科健診の記入方法について	溝口 範子
2	歯科衛生介入	・相互実習歯科健診	溝口 範子
3	歯科衛生介入のための知識生理	・青年を対象としたTBI	溝口 範子
4	歯科衛生介入	・歯科技工士科1学年に対するTBI	溝口 範子
5	小集団指導法実習	・小集団に対する指導法について	溝口 範子
6	歯科衛生介入のための知識生理	・高齢者に対する健康教育 ・指導媒体作成	溝口 範子
7	歯科衛生介入	・高齢者に対する歯科健診記録 ・高齢者に対する健康教育	溝口 範子
8	歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理	・口腔内写真撮影記録(正面観、側方観、咬合面観)	市川 智恵

回	授業項目	授業内容	担当者
9	歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔内写真撮影の目的、撮影器材、撮影方法について</li> <li>・口腔内写真撮影撮影実習(正面観)</li> </ul>	市川 智恵
10	歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔内写真撮影実習(側方観、咬合面観)</li> </ul>	市川 智恵
11	歯科衛生介入のための知識生理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児に対する健康教育</li> <li>・指導媒体作成</li> </ul>	溝口 範子
12	歯科衛生介入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児に対する歯科健診記録</li> <li>・園児に対する健康教育</li> </ul>	溝口 範子
13	歯科衛生介入のための知識生理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人を対象とした口腔保健管理</li> </ul>	溝口 範子
14	歯科衛生介入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人を対象とした口腔保健管理実習</li> </ul>	溝口 範子

【科目名】 歯科保健指導Ⅱ

【年次・開講期】 3年次 前期・後期

【時間】 44時間

【単位】 1単位

【担当講師】 岩寺小児歯科  
院長 岩寺 環司 歯科医師実務経験あり  
札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科  
専任教員 市川 智恵 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士業務の1つである歯科保健指導の意義や口腔の健康を保つ為の基本的な手技を理解し、全てのライフステージにおける対象者の特徴を理解し、対応する能力を身につける。

【到達目標】

- ・歯科保健指導における書面化(業務記録)の意義を説明できる。
- ・歯科保健指導を個人と集団に分けて説明できる。
- ・ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチを説明できる。
- ・配慮を有する人への口腔機能管理と指導法がわかる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版  
全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版株式会社

【参考書】 最新歯科衛生士教本「保健生態学」第3版  
全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版株式会社

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科衛生介入のための知識生理	・母親教室における歯科保健指導	岩寺 環司
2	業務記録実習	・業務記録の意義と記入方法について	市川 智恵
3	歯科衛生介入	・相互歯科健診	市川 智恵
4	歯科衛生介入	・歯科衛生士科1学年に対する口腔保健管理	市川 智恵
5	配慮を要するものへの歯科衛生介入	・要介護高齢者の一般的特徴 ・障害高齢者の日常生活自立度 ・要介護高齢者の口腔の特徴/BDR指標	市川 智恵
6	配慮を要するものへの歯科衛生介入	・要介護高齢者の食生活と特徴と栄養 ・接触能力、摂食機能の評価	市川 智恵
7	配慮を要するものへの歯科衛生介入	・障害児の一般的特徴 ・障害児の口腔の特徴と歯科的問題点	市川 智恵
8	配慮を要するものへの歯科衛生介入	・障害児の歯と口の健康管理の現状と重要性	市川 智恵

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
9	配慮を要するものへの歯科衛生介入	・大規模災害被災者への歯科保健指導 ・歯科衛生士によるアセスメントと支援活動	市川 智恵
10	配慮を要するものへの歯科衛生介入	・災害時の多職種連携について ・歯科衛生士によるアセスメントと支援活動(演習)	市川 智恵
11	歯科衛生介入のための知識生理	・地域歯科保健活動における健康教育 ・PDCAサイクル	市川 智恵
12	歯科衛生介入のための知識生理	・情報収集 ・口腔保健管理	市川 智恵
13	歯科衛生介入のための知識生理	・食生活指導	市川 智恵
14	歯科衛生介入のための知識生理	・口腔機能管理	市川 智恵
15	歯科衛生介入のための知識生理	・健康教育	市川 智恵

【科目名】 栄養指導

【年次・開講期】 2年次 後期

【時間】 30時間

【単位】 1単位

【担当講師】 管理栄養士 高氏 千秋 管理栄養士実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士に必要な栄養額の基礎的な知識を修得するとともに、現代の健康および栄養に関する課題とそれをとりまく社会的な要因等について学び、食生活改善の取組みにおける役割を理解する。

【到達目標】

- ・健康の維持と増進に必要な栄養を概説できる。
- ・栄養素の種類と役割を説明できる。
- ・食事摂取基準を説明できる。
- ・食生活と健康との関連を概説できる。
- ・ライフステージ別の食生活の特徴を説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能2「栄養と代謝」  
全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版株式会社

【参考書】

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	栄養の基礎	・食生活と栄養 ・栄養素の消化・吸収	高氏 千秋
2	食事摂取基準1	・エネルギー必要量 ・基礎代謝	高氏 千秋
3	食事摂取基準2	・日本人の食事摂取基準	高氏 千秋
4	栄養素の働き1	・糖質	高氏 千秋
5	栄養素の働き2	・タンパク質	高氏 千秋
6	栄養素の働き3	・脂質	高氏 千秋
7	栄養素の働き4	・ビタミン	高氏 千秋

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
8	栄養素の働き5	・ミネラル	高氏 千秋
9	栄養素の働き6	・水 ・食物繊維	高氏 千秋
10	実習	・食品の糖度とPHの測定	高氏 千秋
11	食生活と健康1	・国民の健康と栄養の現状 ・望ましい食生活	高氏 千秋
12	食生活と健康2	・食事バランスガイド	高氏 千秋
13	食生活と健康3	・ライフステージ別の栄養と調理	高氏 千秋
14	実習	・ライフステージ別の栄養と調理(試食)	高氏 千秋
15	食べ物と健康	・食品の成分と分類 ・食べ物の物性	高氏 千秋

【科目名】 障害者歯科

【年次・開講期】 2年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部 口腔構造・機能発育学系 小児歯科学分野  
助教 福田 敦史 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 障害のある人に対する歯科保健を実践するために、その身体的、精神的および心理的特徴と歯科治療および口腔衛生管理上の留意点を理解する。

- 1)健康、疾病と障害の概念
- 2)障害者の歯科治療上の注意点
- 3)障害者の歯科保健・口腔衛生管理

【到達目標】

- ・障害の概念を説明できる。
- ・疾患と各種障害の関連づけができる。
- ・障害がある人への対応と口腔の特徴を理解できる。
- ・障害者の歯科医療と行動調整について歯科衛生士の役割が理解できる。
- ・障害がある人の口腔ケアを説明できる。
- ・専門的口腔ケアの理解ができる。
- ・摂食嚥下リハビリテーションの意義と流れについて説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「障害者歯科」第2版  
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	オリエンテーション 1章 障害の概念 2章 歯科治療で特別な支援が必要な疾患	・障害の概念、分類(ICIDH, ICF) ・障害者への理解 ・ノーマライゼーションとバリアフリー ・精神発達・心理的発達と行動障害 精神遅滞、広汎性発達障害	福田 敦史
2	2章 歯科治療で特別な支援が必要な疾患	・運動障害・感覚障害 脳性麻痺・筋ジストロフィー	福田 敦史
3	2章 歯科治療で特別な支援が必要な疾患 3章 障害の歯科医療と行動調整	・精神および行動の障害 ・その他の障害 ・行動変容法 行動療法、体動のコントロール	福田 敦史
4	4章 健康支援と口腔衛生管理	・専門的口腔ケア 器質的口腔ケア、機能的口腔ケア	福田 敦史
5	5章 摂食嚥下リハビリテーションと歯科衛生士の役割	・摂食嚥下リハビリテーションとは 摂食5期、スクリーニングテスト、精密検査 ・試験対策	福田 敦史



【科目名】 高齢者歯科

【年次・開講期】 2年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系 咬合再建補綴学分野  
准教授 豊下 祥史 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 高齢者の生活の質の向上に貢献するために、高齢者の身体的、精神的および心理的特徴を理解し、口腔機能の維持や回復に必要な歯科医学的知識と技能・態度を習得する。

【到達目標】

- ・高齢者を見るという視点を持つことができる。
- ・高齢社会とは何か説明できる。
- ・高齢者の身体機能の老化について説明できる。
- ・高齢者の精神・心理的变化が理解できる。
- ・高齢者生活機能についての評価法がわかる。
- ・高齢者の薬剤服用に対する反応について理解できる。
- ・摂食嚥下リハビリテーションの意義と流れについて説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本 「高齢者歯科」第2版 医歯薬出版  
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	高齢者を取りまく 社会と環境	高齢者の現状や特性、介護保険制度や要介護高齢者を取り巻く環境を知ることにより、歯科医療の果たす役割について学習する。	豊下 祥史
2	加齢による 身体的・精神的変化	高齢者の加齢による身体的および精神的変化と高齢者に多い基礎疾患や口腔の疾患について学習する。	豊下 祥史
3	高齢者の状態の把握	高齢者の生活機能や栄養状態の評価方法および服薬による影響について学習する。	豊下 祥史
4	口腔のケア	高齢者、有病高齢者および要介護高齢者の口腔のケアの方法とその意義について学習する。	豊下 祥史
5	摂食嚥下リハビリテーション 高齢者に係わる 医療と介護	摂食嚥下機能の評価と対応およびその意義について学習する。 在宅医療と歯科衛生士の役割について学習する。	豊下 祥史

【科目名】 歯科診療補助Ⅰ

【年次・開講期】 1年次 前期・後期

【時間】 90時間

【単位】 2単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科  
専任教員 柏崎 亜美 歯科衛生士実務経験あり  
専任教員 土門 京子 歯科衛生士実務経験あり  
専任教員 市川 智恵 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯科診療補助は社会的情勢や歯科医療の高度化にともなって歯科衛生士としての専門性を多く発揮できる領域であるため、歯科衛生士の役割を理解し、歯科材料や歯科器械の取り扱いについて習得する。

【到達目標】

- ・衛生材料の作製手順や作り方が習得できる。
- ・手指消毒の意義を理解し、各種手洗い法の手順を確実に学ぶことができる。
- ・歯科用ユニットの管理ができる。
- ・各種滅菌器・消毒薬の準備ができる。
- ・アルジネート印象材の取り扱いができる。
- ・歯科用石膏の取り扱いができる。
- ・寒天印象材の取り扱いができる。
- ・各種合着材、接着材の取り扱いができる。
- ・仮封材の取り扱いができる。
- ・歯髄処置、根管治療、根管充填の各処置に使用するの器具を説明できる。
- ・コンポジットレジン of 取扱い法について説明できる。
- ・共同動作を行うにあたり術者、介助者の基本操作ができる。
- ・各補綴物の特性がわかる。
- ・抜歯の器具・器材・術式がわかる。
- ・矯正治療用器具の名称と用途がわかる。
- ・ゴム質印象材の種類と性質がわかる。
- ・X線フィルムの処理ができる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」第2版 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「歯科材料」 医歯薬出版株式会社  
新人歯科衛生士・デンタルスタッフポケットマニュアル 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「歯・歯髄疾患 保存修復学・歯内療法学」 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「咀嚼異常・咬合異常1 歯科補綴学」第2版 医歯薬出版株式会社  
わかりやすい歯科放射線学 第3版 学研書院  
最新歯科衛生士教本「咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正」 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」 医歯薬出版株式会社

【参考書】 資料プリント

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習・実験

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	・総論	・歯科診療補助の概要 ・歯科衛生士とは	柏崎 亜美

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
2	・衛生材料取扱い 綿球・ロールワッテ カット綿	・綿花の取り扱い 1)綿花断裁、たたみ綿花作製 2)綿球、ロールワッテ作製	柏崎 亜美
3	・衛生材料取扱い 綿球・ロールワッテ カット綿	・綿花の取り扱い 1)綿花断裁、たたみ綿花作製 2)綿球、ロールワッテ作製	柏崎 亜美
4	・医療安全と感染予防	・手指消毒	柏崎 亜美
5	・医療安全と感染予防	・医療安全	柏崎 亜美
6	・歯科用ユニットについて ・薬品・歯科材料の管理	・診療室の環境整備 ・歯科ユニット各部の名称と使用時の注意点	柏崎 亜美
7	・消毒・滅菌	・寒天培地の観察	柏崎 亜美
8	・共同動作	・患者誘導	柏崎 亜美
9	・アルジネート印象材	・アルジネート印象材の基本操作1	柏崎 亜美
10	・アルジネート印象材	・アルジネート印象材の基本操作2	柏崎 亜美
11	・アルジネート印象材	・アルジネート印象材の基本操作3	柏崎 亜美
12	・模型材料	・歯科用石膏取り扱い1	土門 京子
13	・模型材料	・歯科用石膏取り扱い2	土門 京子
14	・模型材料	・石膏棒作製	土門 京子
15	・模型材料	・陰型模型作製	土門 京子
16	・寒天印象材	・寒天印象材の取り扱い	柏崎 亜美
17	・寒天印象材	・連合印象材の取り扱い	柏崎 亜美
18	・仮封材	・仮封材の取り扱い1 ・ストップピング、水硬性化封材、酸化亜鉛ユージノールセメント	柏崎 亜美
19	・仮封材	・仮封材の取り扱い2 ・酸化亜鉛ユージノールセメント、軟質レジン、サンダラック	柏崎 亜美
20	保存材料 ・合着材・仮着着	・各種合着用セメントの性質と取扱い ・合着と仮着、仮封の意味	柏崎 亜美
21	保存材料 ・合着材・仮着材	・ガラスアイオノマーセメント・カルボキシレートセメント ・非ユージノールセメント	柏崎 亜美
22	保存材料 ・合着材・仮着材	・ガラスアイオノマーセメント・カルボキシレートセメント ・リン酸亜鉛セメント	柏崎 亜美
23	保存材料 ・接着材	・パナビア ・スーパーボンド	柏崎 亜美
24	保存器材 ・保存・修復	・麻酔抜髄と感染根管治療の術式と使用器具について	柏崎 亜美
25	保存器材 ・保存・修復	・麻酔抜髄と感染根管治療の術式と使用器具について	柏崎 亜美
26	保存器材 ・歯内・修復用レジン	・CR充填の目的と術式について	土門 京子
27	共同動作 (講義)	・歯科診療所における共同動作の目的を知る	土門 京子
28	共同動作 ・患者誘導・ライティング	・共同動作の必要性とルールを知り、実践する	土門 京子

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
29	共同動作 ・器具受け渡し	・共同動作の必要性とルールを知り、実践する ・患者誘導の留意点を知り、実践する	土門 京子
30	共同動作 ・口腔内洗浄・バキューム	・共同動作の必要性とルールを知り、実践する ・患者誘導の留意点を知り、実践する	土門 京子
31	補綴器械	・器械・器具の取り扱い ・鉗子	市川 智恵
32	補綴器械	・WAX ・咬合器	市川 智恵
33	口外器械 ・普通抜歯・困難抜歯	・普通抜歯・難抜歯に使用する器具 ・麻酔用カートリッジの取り扱い	市川 智恵
34	口外器械 ・普通抜歯・困難抜歯	・普通抜歯・難抜歯に使用する器具 ・メス、持針器の取扱い	市川 智恵
35	矯正器械	・矯正用プライヤーの名称と用途 ・その他の器具の名称と用途	市川 智恵
36	ゴム質印象材	・ゴム質印象材の取扱い1	柏崎 亜美
37	ゴム質印象材	・ゴム質印象材の取扱い2 ・マネキン印象	柏崎 亜美
38	X線現像実習	・現像の実際 ・撮影済みフィルムの管理	柏崎 亜美
39	滅菌・消毒 安全管理	・歯科器材の滅菌法 ・安全管理対策	柏崎 亜美
40 5 45	相互実習	・共同操作について相互実習をとおして実践する ・寒天印象材とアルジネート印象材を使用した連合印象	柏崎 亜美

【科目名】 歯科診療補助Ⅱ

【年次・開講期】 2年次 前期・後期

【時間】 90時間

【単位】 2単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科  
専任教員 柏崎 亜美 歯科衛生士実務経験あり  
専任教員 溝口 範子 歯科衛生士実務経験あり  
専任教員 飯塚 貴子 歯科衛生士実務経験あり  
専任教員 市川 智恵 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基礎的知識、技術および態度を習得する。

【到達目標】

- ・スタンダードプレコーションができる。
- ・医療廃棄物の取り扱いができる。
- ・概形印象の採得ができる。
- ・歯冠修復材の取り扱いができる。
- ・根管治療の薬剤や器材が準備できる。
- ・歯周用パックの取り扱いができる
- ・咬合採得の手順を説明できる。
- ・プロビジョナルレストレーションの作製手順を説明できる。
- ・普通抜歯に使用する器材の準備ができる。
- ・抜糸後の注意を説明できる。
- ・縫合用器材の準備ができる。
- ・局所麻酔の器材・薬剤の準備と取り扱いができる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」第2版 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「歯科材料」 医歯薬出版株式会社  
新人歯科衛生士・デンタルスタッフポケットマニュアル 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「歯・歯髄疾患 保存修復学・歯内療法学」 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「歯周病学」第2版 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「咀嚼異常・咬合異常1 歯科補綴学」第2版 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」 医歯薬出版株式会社

【参考書】 資料プリント

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習・実験

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	診査の概要	・歯科治療と診療報酬用語・記号	溝口 範子
2	医療安全と感染予防	・インシデントとアクシデント	溝口 範子
3	医療安全と感染予防	・リスクマネジメント	溝口 範子
4	歯科保存治療における 歯科診療補助	・根管治療の術式復習 ・根管にあったブローチ綿花作製	溝口 範子

回	授業項目	授業内容	担当者
5	歯科保存治療における 歯科診療補助	・CR修復 1	飯塚 貴子
6	歯科保存治療における 歯科診療補助	・CR修復 2	飯塚 貴子
7	材料取り扱い	・寒天-アルジネート連合印象	飯塚 貴子
8	材料取り扱い	・スタディモデル作製実習1	溝口 範子
9	材料取り扱い	・スタディモデル作製実習2	溝口 範子
10	材料取り扱い	・技工士科1年 印象採得実習	溝口 範子
11	材料取り扱い	・セメント練和	柏崎 亜美
12	材料取り扱い	・セメント修復・CR充填の術式	柏崎 亜美
13	材料取り扱い	・各種合着材、仮封材、仮着材の練和	柏崎 亜美
14	歯科補綴治療における 歯科診療補助	・義歯の取り扱い ・義歯の調整とそれに使用する器具	市川 智恵
15	歯科補綴治療における 歯科診療補助	・プロビジョナルレストレーション作製について	飯塚 貴子 柏崎 亜美
16	歯科補綴治療における 歯科診療補助	・プロビジョナルレストレーションの作製1	飯塚 貴子 柏崎 亜美
17	歯科補綴治療における 歯科診療補助	・プロビジョナルレストレーションの作製2	飯塚 貴子 柏崎 亜美
18	歯科補綴治療における 歯科診療補助	・プロビジョナルレストレーションの作製3	飯塚 貴子 柏崎 亜美
19	歯科補綴治療における 歯科診療補助	・プロビジョナルレストレーションの作製4	飯塚 貴子 柏崎 亜美
20	歯科補綴治療における 歯科診療補助	・プロビジョナルレストレーションの作製5	飯塚 貴子 柏崎 亜美
21	歯科補綴治療における 歯科診療補助	・プロビジョナルレストレーションの作製6	飯塚 貴子 柏崎 亜美
22	歯科補綴治療における 歯科診療補助	・歯肉圧排法の種類 ・歯肉圧排法の術式と器材	飯塚 貴子 柏崎 亜美
23	歯周外科治療における 歯科診療補助	・非ユージノール系歯周パックの取りあつかい	飯塚 貴子 柏崎 亜美
24	歯科補綴治療における 歯科診療補助	・シリコンゴム質印象材1 個トレー作製	市川 智恵 柏崎 亜美
25	歯内療法における 歯科診療補助	・麻酔抜髄と感染根管治療の術式と使用器具について	溝口 範子
26	保存修復における 歯科診療補助	・CR充填、セメント充填の術式と使用器具 ・CR、ガラスイオノマー充填	溝口 範子
27	保存修復における 歯科診療補助	・CR充填、セメント充填の術式と使用器具 ・フジIX、咬合調整	溝口 範子
28	歯科補綴治療における 歯科診療補助	シリコンゴム質印象材2 個トレーを使った印象採得	市川 智恵 柏崎 亜美
29	共同動作 ・器具受け渡し	・共同動作の必要性とルールを知り、実践する ・患者誘導の留意点を知り、実践する	溝口 範子
30	共同動作 ・口腔内洗浄・バキューム	・共同動作の必要性とルールを知り、実践する ・患者誘導の留意点を知り、実践する	溝口 範子

回	授業項目	授業内容	担当者
31	歯科補綴治療における 歯科診療補助	・歯冠補綴物の分類 ・支台築造について	溝口 範子
32	口腔外科における 歯科診療補助	・抜歯の際に使用する器具・器材について ・普通抜歯の術式	市川 智恵
33	口腔外科における 歯科診療補助	・抜歯後の注意事項 ・カートリッジ・メス・持針器取扱い	市川 智恵
34	歯周外科治療における 歯科診療補助	・歯周パック(歯肉包帯剤)	飯塚 貴子
35	歯科補綴治療における 歯科診療補助	・咬合採得の術式 ・WAX・シリコーン印象材	飯塚 貴子
36	まとめ	・歯科診療補助Ⅱのまとめ	柏崎 亜美

【科目名】 歯科診療補助Ⅲ

【年次・開講期】 3年次 前期・後期

【時間】 44時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科  
専任教員 飯塚 貴子 歯科衛生士実務経験あり  
専任教員 市川 智恵 歯科衛生士実務経験あり  
専任教員 土門 京子 歯科衛生士実務経験あり  
専任教員 柏崎 亜美 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 さまざまなライフステージにおける歯科医療に対応するために、専門的な歯科医療の補助に関する基礎的知識、技術および態度を習得する。

【到達目標】

- ・チーム歯科医療の必要性を説明できる。
- ・保存治療時の診療補助がわかる。
- ・補綴治療時の診療補助がわかる。
- ・口腔外科治療時の診療補助がわかる。
- ・矯正歯科治療時の診療補助がわかる。
- ・小児歯科治療時の診療補助がわかる。
- ・高齢者歯科治療時の診療補助がわかる。
- ・障がい者歯科治療時の診療補助がわかる。
- ・エックス線撮影時の診療補助がわかる。
- ・救急救命処置の方法がわかる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」第2版 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「歯科材料」 医歯薬出版株式会社  
新人歯科衛生士・デンタルスタッフポケットマニュアル 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「歯・歯髄疾患 保存修復学・歯内療法学」 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「咀嚼異常・咬合異常1 歯科補綴学」第2版 医歯薬出版株式会社  
わかりやすい歯科放射線学 第3版 学研書院  
最新歯科衛生士教本「咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正」 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本 「高齢者歯科」第2版 医歯薬出版 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本 「障害者歯科」第2版 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本 「臨床検査」 医歯薬出版株式会社

【参考書】 資料プリント

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	材料取り扱い	・歯科医院で使用する材料の取り扱い実習	市川 智恵
2	歯科診療補助のまとめ	・歯科診療補助の業務範囲	柏崎 亜美
3	歯科診療補助のまとめ	・チーム歯科医療の考え方	市川 智恵



回	授業項目	授業内容	担当者
4	歯科診療補助のまとめ	・訪問診療	市川 智恵
5	歯科診療補助のまとめ	・全身管理について ・基礎疾患について	土門 京子
6	歯科診療補助のまとめ	・全身管理について ・情報収集	市川 智恵
7	歯科診療補助のまとめ	・共同動作	飯塚 貴子
8	歯科診療補助のまとめ	・滅菌・消毒について	飯塚 貴子
9	歯科診療補助のまとめ	・医療安全について	柏崎 亜美
10	歯科診療補助のまとめ	・主要材料の取り扱い1	柏崎 亜美
11	歯科診療補助のまとめ	・主要材料の取り扱い2	柏崎 亜美
12	歯科診療補助のまとめ	・保存修復時の診療補助	飯塚 貴子
13	歯科診療補助のまとめ	・歯周治療時の診療補助	飯塚 貴子
14	歯科診療補助のまとめ	・補綴治療時の診療補助	市川 智恵
15	歯科診療補助のまとめ	・口腔外科治療時の診療補助	市川 智恵
16	歯科診療補助のまとめ	・矯正歯科治療時の診療補助	市川 智恵
17	歯科診療補助のまとめ	・小児歯科治療時の診療補助	土門 京子
18	歯科診療補助のまとめ	・高齢者歯科治療時の診療補助	土門 京子
19	歯科診療補助のまとめ	・障がい者歯科治療時の診療補助	土門 京子
20	歯科診療補助のまとめ	・エックス線撮影時の診療補助	柏崎 亜美
21	歯科診療補助のまとめ	・救急救命処置	市川 智恵
22	歯科診療補助のまとめ	・試験対策	柏崎 亜美

【科目名】 歯科材料学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系 高度先進保存学分野  
講師 森 真理 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科診療補の補助に対応するために、歯科治療で用いられる腫瘍歯科材料の種類、基本的性質および標準的な使用法を習得する。

【到達目標】

- ・歯科材料の機械的、物理的、化学的、生物学的性質の概要を説明できる。
- ・印象材の種類と基本的性質を説明できる。
- ・模型材の種類と基本的性質を説明できる。
- ・合着材、接着材、仮着材の種類と基本的性質を説明できる。
- ・歯冠修復材の種類と基本的性質の概要を説明できる。
- ・仮封材の種類と基本的性質を説明できる。
- ・ワックスの種類と基本的性質を説明できる。
- ・インプラントの種類と基本的性質を説明できる。
- ・ホワイトニングの種類と基本的性質を説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「歯科材料」  
全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科材料の基礎知識	・機械的性質について ・物理的性質について ・化学的性質について ・生物学的性質について	森 真理
2 ・ 3	印象材の種類と性質	・アルジネート印象材 ・寒天印象材 ・ゴム質印象材 ・酸化亜鉛ユージノール印象材 ・その他の印象材	森 真理
4	模型材の種類と性質	・石膏の硬化機序 ・普通石膏・硬石膏・超硬石膏	森 真理
5	合着材・接着剤の種類と性質	・リン酸亜鉛セメント ・酸化亜鉛ユージノールセメント ・カルボキシレートセメント ・ガラスアイオノマーセメント ・レジン系セメント	森 真理

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
6 5 8	歯冠修復材の種類と性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・即時重合レジン</li> <li>・コンポジットレジン</li> <li>・グラスアイオノマーセメント</li> <li>・アマルガム</li> <li>・仮封材</li> </ul>	森 真理
9	新しい歯科材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インプラント</li> <li>・ホワイトニング</li> <li>・ファイバーポスト</li> <li>・セラミックインレー</li> <li>・オールセラミッククラウン</li> </ul>	森 真理
10	使用の実際	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科保存・歯内療法</li> <li>・歯科補綴</li> <li>・口腔外科</li> <li>・最先端医療</li> <li>・その他</li> </ul>	森 真理

【科目名】 歯科放射線

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 30時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌医科大学医学部 口腔外科学講座  
講師 出張 裕也 歯科医師実務経験あり  
札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科  
専任教員 柏崎 亜美 実務経験あり

【授業概要】 歯科放射線の知識と撮影補助のために必要な撮影手順、放射線防護の方法を習得する。

【到達目標】

- ・放射線の生物学的影響を理解し、放射線防護を概説できる。
- ・頭部エックス線撮影の種類と方法を概説できる。
- ・口内法ならびにパノラマエックス線撮影の手技を説明できる。
- ・う蝕と歯周病および顎骨に生じる病変(嚢胞、腫瘍、炎症等)のエックス線所見を概説できる。
- ・超音波検査、CTおよびMRIの原理と特徴を概説できる。
- ・嚙下造影検査、嚙下内視鏡検査の所見を概説できる。
- ・パノラマエックス線撮影の準備ができる。
- ・口腔内撮影法のフィルムの位置づけと固定ができる。
- ・患者や術者の放射線防護ができる。

【教科書】 わかりやすい歯科放射線学 第3版

学研書院

【参考書】 資料プリント

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	1章 歯科医療と放射線	1-歯科におけるエックス線写真と画像診断 2-放射線とその性質 3-放射線の人体への影響と防護	出張 裕也
2	2章 エックス線画像の形成	1-エックス線と画像の形成 2-エックス線フィルムと増感紙 3-デジタル画像系	出張 裕也
	3章 歯科におけるエックス線検査	1-口内法エックス線撮影 2-パノラマエックス線撮影 3-頭部エックス線規格撮影 4-その他の画像検査法	出張 裕也

回	授業項目	授業内容	担当者
3	4章 口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割	1-口内法エックス線撮影の準備 2-フィルムとヘッド(管容器)の位置づけ 3-配慮が必要な患者のエックス線撮影 4-感染予防 5-口内法エックス線写真のみかた	出張 裕也
	5章 パノラマエックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割	1-パノラマエックス線撮影の準備 2-患者の誘導と位置づけ 3-パノラマエックス線写真のみかた	出張 裕也
4	6章 写真処理と画像保管の実際	1-写真処理 2-写真処理における品質管理 3-品質保証計画の実施 4-医療機器の保守・点検 5-エックス線写真の整理・観察・保管	出張 裕也
5	7章 放射線治療と口腔管理	1-放射線治療 2-放射線治療による副作用(有害事象) 3-放射線治療患者の口腔管理	出張 裕也
6	エックス線写真の現像の実際	暗室の使用方法 自動現像機のしくみと使用方法について インスタント現像の方法について	柏崎 亜美
7	パノラマ撮影実習	①パノラマ撮影と現像 (自動現像機にて現像)	出張 裕也
8	デジタルにてパノラマ・デンタル実習/3Fにてデンタル実習	①1階センターにてデジタル撮影の見学 ②3階にてデンタル撮影:上顎前歯部1枚 (自動現像機にて現像)	出張 裕也
9	デンタル撮影実習	①デンタル:両側どちらか6番(自動現像) (インスタント現像)	出張 裕也
10	まとめの講義	実習のまとめ 補足の講義	出張 裕也

【科目名】 臨床検査法

【年次・開講期】 2年次 後期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌医科大学医学部 口腔外科学講座  
助教 佐々木 敬則 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 臨床検査の倫理・安全性・必要性について説明でき、歯科衛生士の役割について理解することができる。

【到達目標】

- ・一般臨床検査の種類と目的を説明できる。
- ・検査の倫理と安全性を説明できる。
- ・検査値の評価の重要性を説明できる。
- ・バイタルサインの測定ができる。
- ・意識レベルの把握ができる
- ・血圧、脈拍、心機能、呼吸のモニタリングができる。
- ・AEDの取り扱いができる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「臨床検査」 医歯薬出版株式会社

【参考書】 資料プリント

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	1章 臨床検査とは 2章 生体検査	臨床検査の概要 体温、脈拍、血圧等について	佐々木 敬則
2	3章 検体検査	血液検査、感染症(細菌)検査、病理検査について	佐々木 敬則
3	4章 口腔領域の臨床検査 5章 摂食・嚥下関連の検査	口臭検査、味覚検査、歯科金属アレルギーの検査、舌の検査、 口腔粘膜の検査、唾液検査、歯周組織の検査、歯の検査、 根管内細菌培養検査について 摂食・嚥下障害のスクリーニングテスト、摂食・嚥下障害の検査法について	佐々木 敬則
4	生理検査の実習 救急蘇生実習	生理検査の実習 救急蘇生実習	佐々木 敬則
5	主な疾患・病態別検査値のとらえ方	具体的な疾患・病態別の歯科におけるポイントについて	佐々木 敬則

【科目名】 インプラントワーク

【年次・開講期】 3年次 後期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系 クラウンブリッジ・インプラント 補綴学分野  
教授 越智 守生 歯科医師実務経験あり  
准教授 廣瀬 由紀人 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 口腔インプラントの基本的な構造を理解し、口腔インプラント治療における歯科医師と歯科衛生士の連携を学び、歯科衛生士の果たす役割と重要視について理解する。

【到達目標】

- ・インプラント治療の概要を説明できる。
- ・インプラントの基本構造を説明できる。
- ・インプラント周囲炎について説明できる。
- ・インプラント上部構造を説明できる。
- ・メンテナンスの重要性が説明できる。
- ・インプラント装着後の患者指導ができる。

【教科書】 新 歯科衛生士教育マニュアル 歯科補綴学 クインテッセンス株式会社

【参考書】 資料プリント

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	口腔インプラント学序説 インプラント治療の実際 インプラントの基礎知識(1)	・欠損補綴におけるインプラント治療の位置づけを理解する。 ・インプラント治療の概要を把握する。 ・インプラントの基本構造を理解する。 ・インプラントと天然歯の共通点と相違点を理解する。	越智 守生
2	インプラントの基礎知識(2)	・口腔インプラントのための基礎科学の要点を理解する。 ・インプラント周囲疾患の原因、病態、対処方法を理解する。	廣瀬 由紀人
3	インプラントの基礎知識(3) コンサルテーション	・「インプラントの基礎知識」についての総括 ・「インプラントにおけるコンサルテーション」を学ぶ。	越智 守生
4	検査,診断,治療計画の立案 インフォームドコンセント	・検査、診断、治療計画の立案について、その要点を理解する。 ・インフォームドコンセントの概念を理解する。	廣瀬 由紀人
5	インプラント手術(1)	・術前の患者指導とPMTCができる。 ・手術準備、手指消毒、術衣の装着、ドレーピングができる。	越智 守生
6	インプラント手術(2)	・一次ならびに二次手術の内容を理解し、手術の補助ができる。 ・手術後の後片付けと患者対応ができる。	廣瀬 由紀人
7	上部構造	・上部構造の種類を説明できる。 ・インプラントの補綴術式を理解する。 ・固定性上部構造と可撤性上部構造の特徴を理解する。 ・スクリュー固定式とセメント固定式の特徴を理解する。	越智 守生
8	メンテナンス(1)	・リコールについて説明できる。 ・メンテナンス時の要観察・確認事項を理解する。	廣瀬 由紀人
9	メンテナンス(2)	・プラークコントロールと患者指導ができる。 ・累積防衛的メンテナンス療法を理解する。	越智 守生
10	総括	・インプラント臨床における歯科衛生士の役割についての総括 ・口腔インプラントの歴史的背景と将来展望について学ぶ。	廣瀬 由紀人

【科目名】 臨地・臨床実習

【年次・開講期】 2年次 後期 3年次 前期 後期

【時 間】 900時間

【単 位】 20単位

【担当講師】 協力歯科医師等

【授業概要】 既習の歯科衛生士業務を実践と結びつけながら理解を深め、実践能力を養うために、歯科臨床等の場を通して歯科衛生士として必要な知識、技術および態度を身につける。

【到達目標】

- ・臨床の場にいる歯科衛生士の役割を理解する。
- ・実習指導者からの指示内容を踏まえた対応ができる。
- ・プライバシーを配慮した態度で対応できる。
- ・スタッフとコミュニケーションを図り、チーム医療を理解する。
- ・対象者の守秘義務を遵守できる。
- ・医療安全に配慮した行動がとれる。
- ・感染予防対策に応じた行動がとれる。
- ・器材、機器および薬品の管理の方法を理解して行動ができる。
- ・実習に対しての報告・連絡・相談ができる。
- ・歯科治療の術式が説明できる。
- ・的確な共同動作ができる。
- ・対象者の歯・口腔の状態を把握することができる。
- ・実習指導者が行う歯科衛生業務の目的を説明できる。
- ・対象者の歯面清掃・歯面研磨ができる。
- ・対象者のデータ管理の方法を理解した行動ができる。
- ・小児とコミュニケーションを図る。
- ・高齢者とコミュニケーションを図る。
- ・対象者に応じた誘導ができる。
- ・障害を持つ人や家族の人権・人格を尊重した対応をする。
- ・対象者に応じたわかりやすい媒体を作る。
- ・高齢者の口腔ケアを実施する。
- ・障害児の口腔清掃およびフッ化物歯面塗布を実施する。
- ・成人を対象とした口腔清掃指導ならびに歯石除去を実施する。

【評価方法】 実習先医院からの総合評価(100%)



【科目名】 医療保険事務

【年次・開講期】 3年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科医師会  
理事 中尾 忠篤 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 保険診療に関する基礎的な知識を習得するとともに、保険請求に伴うカルテ記載、レセプト記載ならびに電子請求に伴うPC入力方法等について保険療養担当規則に則った診療報酬業務を習得する。

【到達目標】

- ・社会保険の種類とその特徴を説明できる。
- ・医療保険の種類とその特徴を説明できる。
- ・カルテの記載用語(略号)が説明できる。
- ・診療報酬明細の記載欄が説明できる。
- ・電子媒体請求のPC入力ができる。

【教科書】 歯科保健請求マニュアル 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	社会保険請求事務業務 総論	・社会保険 ・医療保険 ・診療報酬	中尾 忠篤
2	社会保険請求事務業務 総論	・歯科医療の法律、指導・監査 ・指導・監査 ・カルテ記載	中尾 忠篤
3	社会保険請求事務業務 各論	・症例カルテ記載 ・手書きレセプト記載	中尾 忠篤
4	社会保険請求事務業務 各論	・診療報酬請求明細記載 ・総括表記載	中尾 忠篤
5	社会保険請求事務業務 各論	・電子媒体請求のPC入力(演習) ・電子媒体による請求方法	中尾 忠篤

【科目名】 マナー検定(中級)

【年次・開講期】 2年次 後期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 有限会社Ai エクセレント  
代表取締役 高野 文子

【授業概要】 マナーの本質である”敬い感謝する心”を土台に社会人としての応用を身に付ける。

【到達目標】

- ・マナーの本質が説明できる。
- ・美しい立ち居振る舞いが説明できる。
- ・正しい姿勢で挨拶ができる。
- ・歯科医院での基本的な電話対応ができる。
- ・食事マナーの基本を説明できる。
- ・社会人としての基本的なお付き合いが説明できる。

【教科書】 全日本マナー検定協会 センスアップマナー<ステップ2>

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・演習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	マナーの本質を考える	・現状を把握する ・目的を明確にする ・マナーの本質 ・<実技>基本姿勢<1>	高野 文子
2	美しい立ち居振る舞い	・美しい姿勢と心の姿勢 ・相手を敬う立ち居振る舞い ・5秒の礼節 ・実習先での心得 <実技>基本動作	高野 文子
3	日常生活における動作 医療人としての基本動作	・信頼関係を築く立ち居振る舞い ・医療現場における基本動作  <実技>ロールプレイング	高野 文子
4	訪問とおもてなし	・おもてなしの心がけ<事例から学ぶ> ・お茶の出し方・いただき方	高野 文子

回	授業項目	授業内容	担当者
5	信頼関係を高めるコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>信頼関係の築き方</li> <li>コミュニケーションスタイル</li> <li>実習先におけるコミュニケーションのポイント</li> </ul>	高野 文子
6	美しい言葉の使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>TPOに合わせた言葉遣い</li> <li>医療における言葉の使い方</li> <li>&lt;実技&gt;ロールプレイング</li> </ul>	高野 文子
7	電話対応の応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯科医院における電話対応</li> <li>携帯電話の心得</li> <li>&lt;実技&gt;ロールプレイング</li> </ul>	高野 文子
8	新社会人のためのビジネスマナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共のマナー</li> <li>社会人としてのビジネスマナー</li> <li>医療人としての接遇マナー</li> <li>お礼状の書き方</li> </ul>	高野 文子
9	女性らしさが向上する食事マナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事のマナーを通して「在り方」を学ぶ</li> <li>もてなす心を形にあらわす</li> <li>美しいいただき方</li> </ul>	高野 文子
10	贈答のしきたり 社会人としてのおつき合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>贈る側のマナー</li> <li>贈られた側のマナー</li> <li>社会人としての基本的な知識</li> </ul>	高野 文子

【科目名】 訪問歯科

【年次・開講期】 2年次 後期

【時間】 28時間

【単位】 1単位

【担当講師】 東苗穂にじいろ歯科クリニック  
院長 松原 光代 歯科医師実務経験あり  
歯科医師 赤沼 正康 歯科医師実務経験あり  
東苗穂病院歯科  
歯科医師 山下 元子 歯科医師実務経験あり  
歯科衛生士 佐藤 さと子 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 在宅における歯科診療の特徴とその背景を学び、摂食嚥下リハビリテーション、口腔ケアの実際について症例をとおして歯科衛生士の役割と口腔管理について習得する。

【到達目標】

- ・摂食嚥下機能について説明できる。
- ・摂食嚥下機能の評価について説明できる。
- ・摂食嚥下機能リハビリテーションについて概説できる。
- ・在宅歯科診療の留意点が説明できる。
- ・在宅における口腔ケアの留意点が説明できる。
- ・在宅における歯科衛生過程の進め方が説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「高齢者歯科」第2版 医歯薬出版  
全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式

【参考書】 プリント

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	訪問歯科、高齢者歯科とは	・高齢者をとりまく社会と環境 ・加齢に伴う身体的、精神的変化	松原 光代
2	摂食嚥下リハビリテーション	・摂食嚥下リハビリテーションについて ・摂食嚥下の評価と対応	山下 元子
3	摂食嚥下リハビリテーション	・誤嚥性肺炎の予防のための訓練	山下 元子
4	摂食嚥下リハビリテーション	・在宅での摂食・嚥下リハビリテーション	山下 元子
5	高齢者にかかわる医療と介護	・在宅訪問診療の概要	松原 光代
6	高齢者にかかわる医療と介護	・歯科衛生士が関わる公的介護保険の概要 ・有病高齢者への口腔のケア	松原 光代
7	高齢者にかかわる医療と介護	・かかりつけ歯科の役割	赤沼 正康
8	高齢者にかかわる医療と介護	・訪問看護と歯科の役割 ・多職種連携の意義	松原 光代

9	高齢者における歯科衛生過程	・歯科衛生過程の概要	赤沼 正康
10	高齢者における歯科衛生過程	・歯科衛生過程の事例	佐藤 さと子
11	訪問歯科まとめ	・講義の補足 ・国家試験問題	赤沼 正康
12	訪問口腔管理指導	・訪問歯科の実際、歯科衛生士の役割	佐藤 さと子
13 ・ 14	訪問口腔衛生 ・ 実習	・訪問歯科の実際、歯科衛生士の役割 ・相互実習	佐藤 さと子

【科目名】 歯科衛生士業務

【年次・開講期】 2年次 後期

【時間】 38時間

【単位】 1単位

【担当講師】 岩寺小児歯科医院  
院長 岩寺 信喜 歯科医師実務経験あり  
歯科衛生士 歯科衛生士実務経験あり  
札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科  
専任教員 溝口 範子 歯科衛生士実務経験あり  
専任教員 市川 智恵 歯科衛生士実務経験あり  
専任教員 柏崎 亜美 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 小児の発達に伴う摂食嚥下の機能について学ぶ。また、噛む回数の減少などにより口腔周囲筋の機能が低下しているといわれている。筋機能訓練の実習を通して、機能訓練の方法、手技を習得する。  
歯科衛生士が行う歯科診療補助、歯科予防処置、歯科保健指導実習を総合的に繰り返し行うことで、実践力を身に付ける。

【到達目標】

- ・食育について概要を説明できる。
- ・噛むことの効用について説明できる。
- ・口腔周囲筋の機能低下について説明できる。
- ・口腔周囲筋のトレーニングについて説明ができる。
- ・歯科診療に使用する器材の準備ができる。
- ・印象採得を習熟する。
- ・口腔機能低下症が判断できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」第2版 医歯薬出版株式会社  
新人歯科衛生士・デンタルスタッフポケットマニュアル 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「歯・歯髄疾患 保存修復学・歯内療法学」 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「咀嚼異常・咬合異常1 歯科補綴学」第2版 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	トレーセッティング実習	・歯科口腔外科 普通抜歯時におけるトレーセッティング ・局所麻酔用カートリッジの装填実習	市川 智恵
2	トレーセッティング実習	・保存修復 CR修復時におけるトレーセッティング	溝口 範子
3	トレーセッティング実習	・歯内療法 根管治療時におけるトレーセッティング	溝口 範子
4	トレーセッティング実習	・クラウン・ブリッジの研磨・義歯の調整に使用する器具の復習	市川 智恵
5	印象採得実習	・アルジネート印象採得相互実習1	柏崎 亜美

回	授業項目	授業内容	担当者
6	印象採得実習	・アルジネート印象採得相互実習2	柏崎 亜美
7	口腔機能低下症検査実習	・口腔乾燥の検査 ・舌圧検査 ・口腔清掃状態の検査 ・咀嚼能率の検査 他	溝口 範子
8	食育	1食育とは 2窒息事故について 3子どもの発育 4五感を意識した食べ方	岩寺信喜
9	子どもの摂食・嚥下	1授乳、離乳について 2離乳食について 3嚥むことのメリット 4摂食・嚥下障害	岩寺信喜
10	口腔機能訓練	1MFTとは 2口腔周囲筋の機能低下による影響 3機能訓練の進め方	岩寺信喜
11	口腔機能訓練実習 I 口腔機能訓練実習 II	1MFTの診査診断 2MFTの方法	岩寺信喜 歯科衛生士

【科目名】 歯科衛生士業務

【年次・開講期】 3年次 後期

【時間】 38時間

【単位】 1単位

【担当講師】 SPLUSすずき歯科クリニック  
院長 鈴木 淳一 歯科医師実務経験あり  
北海道がんセンター 歯科口腔外科  
歯科衛生士 江戸 美奈子 歯科衛生士実務経験あり  
札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科  
専任教員 飯塚 貴子 歯科衛生士実務経験あり  
専任教員 市川 智恵 歯科衛生士実務経験あり  
専任教員 柏崎 亜美 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 ・歯科衛生士の専門性を生かしう蝕や歯周病の予防をとおして口腔機能管理を行う上で必要な知識、技術を統合し、EBMIに基づき予防のスペシャリストとしての歯科衛生士の役割を学ぶ。  
・周術期における口腔機能管理の概要を学び歯科衛生士としてのかかわりを学ぶ。  
・ホワイトニングの種類とその方法について学び、自らもホームホワイトニングを体験する。

【到達目標】 ・う蝕の原因と進行、予防方法を説明できる。  
・歯周病の原因と分類、進行および予防方法を説明できる。  
・う蝕のリスク評価ができる。  
・歯周病のリスク評価ができる。  
・顎、口腔領域の良性腫瘍、悪性腫瘍、腫瘍類似疾患の種類と症状および治療法を概説できる。  
・顎口腔領域の周術期の口腔衛生管理を説明できる。  
・ホワイトニングの種類と術式が説明できる。

【教科書】 最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」第2版 医歯薬出版株式会社  
新人歯科衛生士・デンタルスタッフポケットマニュアル 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「歯周病学」第2版 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「保健生態学」第3版 医歯薬出版株式会社  
最新歯科衛生士教本「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	う蝕と歯周病について	・う蝕と歯周病予防について 総論	鈴木 淳一
2	う蝕と歯周病について	・う蝕と歯周病予防について 各論	鈴木 淳一
3	う蝕と歯周病について	・う蝕と歯周病予防について 臨床編	鈴木 淳一
4	周術期における歯科診療の補助と口腔機能管理	・がんの基礎知識・治療法 ・がん患者の全身状態と評価	江戸 美奈子
5	周術期における歯科診療の補助と口腔機能管理	・周術期における口腔機能管理① ・がん手術と口腔ケア	江戸 美奈子



回	授業項目	授業内容	担当者
6	周術期における歯科診療の補助と口腔機能管理	・周術期における口腔機能管理② ・がん薬物療法、頭頸部放射線療法と口腔ケア	江戸 美奈子
7	周術期における歯科診療の補助と口腔機能管理	・周術期の歯科治療への対応 ・専門的口腔衛生処置の実際	江戸 美奈子
8	う蝕について	・う蝕の原因 ・プラークの形成	市川 智恵
9	う蝕について	・発酵性糖質について ・カリオロジーについて	市川 智恵
10	歯周疾患について	・健康な歯周組織 ・歯周組織の分類	飯塚 貴子
11	歯周疾患について	・歯周疾患の原因 ・原因菌の性質	飯塚 貴子
12	周術期における口腔機能管理	・口腔乾燥症に関する口腔清掃法	市川 智恵
13	ホワイトニング実習	・ホームホワイトニングのための印象採得 ・片顎印象採得 ・硬質石膏注入	飯塚 貴子 市川 智恵
14	ホワイトニング実習	・ホームホワイトニングのためのカスタムトレー作製 ・石膏模型のトリミング ・カスタムトレーの作製	飯塚 貴子 市川 智恵
15	ホワイトニング実習	・ホームホワイトニング・オフィスホワイトニング講義 ・ホームホワイトニング実習 ・オフィスホワイトニング見学	飯塚 貴子 市川 智恵

【科目名】	総合学習	
【年次・開講期】	3年次 後期	
【時間】	60時間	
【単位】	2単位	
【担当講師】	北海道医療大学歯学部 口腔構造・機能発育学系 咬合再建補綴学分野 教授 越野 寿 歯科医師実務経験あり 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科 専任教員 飯塚 貴子 歯科衛生士実務経験あり 専任教員 市川 智恵 歯科衛生士実務経験あり 専任教員 溝口 範子 歯科衛生士実務経験あり 専任教員 土門 京子 歯科衛生士実務経験あり 専任教員 柏崎 亜美 歯科衛生士実務経験あり	
【授業概要】	3年間で学んだ基礎科目及び臨床科目について復習する。	
【到達目標】	・歯科衛生士国家試験の模擬試験を70%できる。	
【教科書】	最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能1「解剖学・組織発生学・生理学」 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 歯・口腔の構造と機能「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 人体の構造と機能2「栄養と代謝」 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進1「病理学・口腔病理学」 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進2「微生物学」 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3「薬理学」第2版 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 「保健生態学」第3版 医歯薬出版株式会社 歯科衛生士テキスト 「口腔衛生学」第2版 学健書院 最新歯科衛生士教本 「歯科衛生士と法律・制度」第3版 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 「歯科衛生士学総論」 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 「歯科医療倫理」第2版 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 「歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法」 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 「歯周病学」第2版 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 「咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴」第2版 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 「顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔」 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 「小児歯科」 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 「咀嚼障害・咬合異常1 歯科矯正」 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 第2版 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 「障害者歯科」第2版 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 「高齢者歯科」第2版 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 「歯科診療補助論」第2版 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 「歯科材料」 医歯薬出版株式会社 最新歯科衛生士教本 「臨床検査」 医歯薬出版株式会社 わかりやすい歯科放射線学 第3版 学健書院	
【参考書】	プリント配布	
【評価方法】	定期試験(後期)100%	
【授業方法】	講義	

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	模擬試験	・模擬試験 220問	飯塚 貴子 市川 智恵
2	模試解説	・模擬試験 解説	飯塚 貴子 市川 智恵
3	大規模災害時における歯科の役割	・災害時の歯科の役割 ・災害時の歯科診療	越野 寿
4	基礎科目	・解剖学 ・口腔解剖学	市川 智恵
5	基礎科目	・病理 ・口腔病理学	柏崎 亜美
6	基礎科目	・微生物 ・口腔微生物学	溝口 範子
7	基礎科目	・薬理 ・口腔薬理学	飯塚 貴子
8	基礎科目	・口腔衛生学	飯塚 貴子
9	臨床科目	・歯科保存学	飯塚 貴子
10	臨床科目	・歯科補綴学	土門 京子
11	臨床科目	・口腔外科学	柏崎 亜美
12	臨床科目	・歯科矯正学	市川 智恵
13	臨床科目	・小児歯科学	土門 京子
14	基礎科目	・生理学/生化学	市川 智恵
15	基礎科目	・公衆衛生学	溝口 範子